

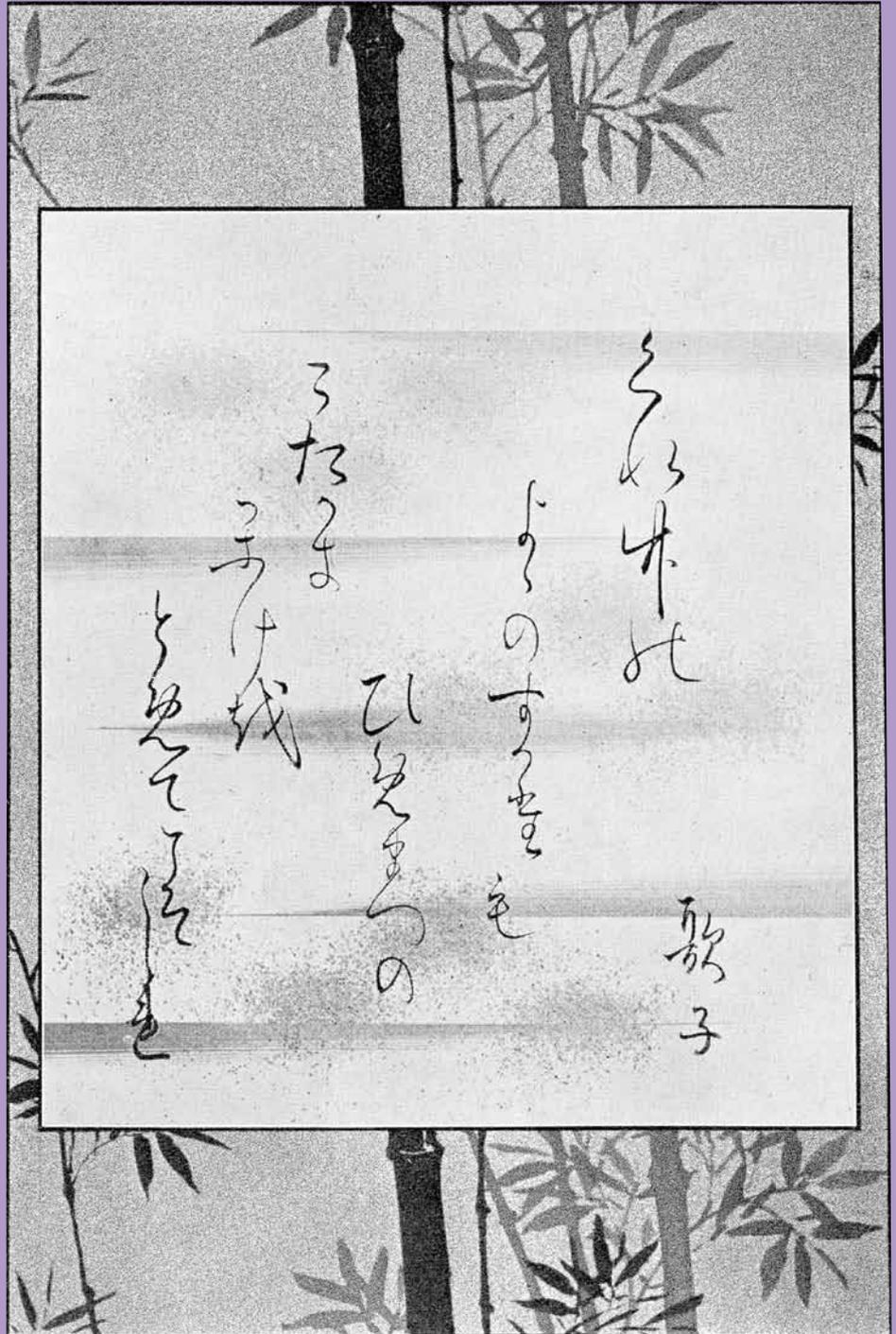
実践桜会行事日程

平成26年

- 4/12(土) 春季委員会 (於:実践桜会会館)
- 5/18(日) 定時総会・懇親会
(於:セルリアンタワー東急ホテル)
- 6/21(土) 実践キャリアネット総会
- 9/13(日) 公開市民講座、地区懇談会 開催 (大学・短期大学部後援会 / 実践桜会共催 於:高崎)
- 10/初旬 「なよたけ情報版」No.20 発行
- 10/8(水) 学祖祭 (於:実践桜会会館)、
献香 護国寺墓参
- 10/11(土) 秋季運営委員会 (於:渋谷)
実践桜会国際交流基金奨学生
交流会 (於:実践桜会会館)
- 10/18(土)19(日) 「常磐祭」(渋谷キャンパス)
- 10/18(土) 実践キャリアネット在学生支援
(日野)
- 10/25(土)・26(日) 実践桜会バザー開催(中高ときわ祭)
オール実践ホームカミングデー
- 11/8(土)・9(日) 大学・短期大学部「常磐祭」参加
- 11/15(土) 実践キャリアネット第1回セミナー

平成27年

- 1/11(土) 初春歌舞伎観劇会
(於:国立劇場)
- 1/12(月) 祝成人の会
- 2/21(土) 実践キャリアネット第2回セミナー
- 3/7(土) 実践桜会国際交流基金奨学生
交流会 (於:実践桜会会館)
- 4/初旬 「那与竹」第78号発行
- 5/17(日) 定時総会・懇親会
(於:セルリアンタワー東急ホテル)



『日本の女性』下田歌子著より
(大正2年1月1日発行)

これからの実践女子大学

実践女子学園理事長

井原 徹



実践女子学園は、本年度から渋谷キャンパスに、大学2学部、大学院2研究科、短期大学部2学科が移りました。学祖・下田歌子先生が115年前にこの学園を麹町に創って以来、渋谷への一回目の移転、日野に大学と短期大学を移転させた二回目の移転に続く、三度目の大きな学園改革です。

私は、これから実践女子学園が向かうべき道は、女子の学園であるという立場を踏まえて、「男女共同参画社会推進の一番手の旗手になる」ことであると考えています。明治時代にいち早く男女共同参画を実践した下田歌子先生の業績を考えれば、私たちこそこのことに邁進しなければなりません。

そのことを可能にするために、本年4月から学園附置の「下田歌子研究所」を創設しました。先生の業績や思想を掘り起し、集大成し、理論構築すること等の基礎研究を行います。そしてその成果を、学園のすべての教育現場または職場で実践・応用してもらう予定です。そのために、4本の矢を放ちました。

一本目、理事会の中に「男女共同参画推進担当理事」を置き、推進体制を明確にしました。二本目、総務部に「男女共同参画推進室」を設置し、担当理事の室長ほか、室員を兼務ではありますが数人配置しました。三本目、学内教職員有志による「男女共同参画推進プロジェクト」の結成です。この有志プロジェクトは、来年度に学園の正式な制度である「プロジェクト研究所」となることを目指しています。四本目、本年夏に「職員職場で男女共同参画を推進するための研修会」を開催し、職場の現実的な課題を抽出し、対応策を講じます。

このように、下田歌子研究所による基礎研究と、4本の矢による実践・応用活動によって、実践女子学園全体の「男女共同参画社会形成への取り組み」を強化して

いきます。

こうしたことを目指して、学園全体が一体感を持って進んで行くことによって、女子学園の中で確乎たる地歩を占めることができます。小さな学園であっても、きらりと光るものさえ確実に持ち、社会に訴えていけば、本学園は社会から一層の信頼と支持を得ることができます。そのことによって、「実践女子学園とは何者なのか」を明らかにしていくことが大切だと考えています。

本年4月の渋谷キャンパス開校を期に、受験生が大学では3割増、短期大学部では4割増加しました。偏差値も全学部において、ここ5年間でかなり上がりました。これらはすべて「渋谷効果」です。次に成すべきは、カリキュラムの充実や学生満足度の向上等による、教育研究内容の一層の充実です。

渋谷に学部や短期大学部が来たことを、誰よりも嬉しく思っているのは卒業生の皆様であることを、私は十分承知しています。「日野にある実践女子大学って、私たちの母校とは言えないのよね。」という声を何度も聞きました。

生活科学部の卒業生の皆様には不満があるかもしれませんが、しかし、大学・短期大学部は日野と渋谷の連携の中で、一体的に発展していくわけですので、日野の生活科学部をどうか「心の故郷」と思って頂きたいと思えます。

私も理事長として6年目に入りました。当面の課題である「日野キャンパス整備」を完遂すべく努力しています。学園は中学校高等学校を含め、全体として勢いがついてきました。この流れを大切にして、一層光り輝く学園を創っていきたいと思えます。

卒業生の皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。
(いはら とおる)

(Message)

新時代を迎える実践女子大学・ 短期大学部の取組み

実践女子大学・短期大学部 学長

田島 眞



1. 渋谷キャンパスの開学

平成 26 年 4 月から、いよいよ文系学部と短期大学部の渋谷での授業が始まりました。渋谷校舎をご覧になった方も多いと思いますが、9 階までの吹き抜けのアトリウムとそれを囲むガラス張りの教室、音もなく上下するシースルーエレベーター。1 階のエントランスホールから見上げると、異次元の空間に来たようで、まさに新時代の校舎です。このガラス張りの教室は、授業を受ける側の学生だけでなく、教える側の教員にも緊張感をもたらします。昔ながらの黒板に板書する講義スタイルだけでなく、工夫を凝らした授業の展開が期待されます。

また、教室の外では、各所に椅子やソファが配置されています。これらは、学生が授業の合間に談笑するだけでなく、グループ学習の場ともなります。最近、文部科学省等で主体性を育む教授法として注目され、各大学で導入が進められているアクティブ・ラーニングを、本学でも展開しようとしており、これらの設備は、それに応えるものです。

文学部と人間社会学部の単位互換も、この校舎で本格的に始まります。人間社会学部の学生が文学部で開講する単位を取得できます。いわば、国文学にもグローバルビジネスにも強い学生を世に送り出すことができます。

付設の中学校高等学校との連携も実を結びつつあります。中高生の大学図書館の利用、高校生の大学授業の聴講も計画が進められています。

2. 日野では地域連携を

日野の生活科学部では、地域との連携を深めています。本年 2 月には日野市との包括連携協定を締結しました。これまで個別に行われていた日野市との各種事業に大学として全面的に協力することが可能となりました。既に

各種イベントに参加しており、日野市の地元商店の暖簾デザインをはじめとした地域活性に大学の知的資源を以て貢献する取組が生まれています。

また、自治体との連携に加え、企業との連携も試みています。食生活科学科では、魚介類の卸売業者と連携協定を結びました。授業で、魚の取扱い方を業者の社員から伝授してもらったり、販売の現場で商品作りやマーケティング体験を実践形式で学びます。現代生活学科では、事務機器メーカーや宝飾品販売業の社員の話を聴きディスカッションを行います。

3.2 期整備計画

渋谷キャンパスの新校舎の話題が目立ちますが、日野校地においても、平成 26 年 2 月～28 年 3 月の期間、「創立 120 周年記念整備事業 2 期整備計画」として、大規模改修を実施しています。

生活科学部の拠点である日野・大坂上キャンパスでは、2 館、3 館を解体した跡地に、新 3 館の建設を行う他、本館をはじめ、校舎の大規模改修を行っています。渋谷キャンパスと同様にアクティブ・ラーニングを推進すると同時に、学生の実験・実習施設・設備の拡充を図ることがその目的です。生活科学部では、これまで以上に実学を推進してまいります。

一方、短期大学部があった日野・神明キャンパスの校舎は全て除却され、平成 27 年 4 月を目途にグラウンドとしての活用が決定しています。さらに広大な土地の有効的な活用を日野市とも連携し、最大限に利用できるよう現在計画を進めています。

以上、紙面が許す限りですが、大学・短期大学部を取り巻くニュースの一端をお届けしました。

(たじま まこと)

桜同窓会から実践桜会の今へ

一般社団法人教育文化振興実践桜会 理事長

浦上 淳子



平成 26 年度定時総会が 5 月 18 日、渋谷セルリアンタワー東急ホテルにて開催されました。懸案でございました代議員制移行のための定款改定には正会員の 3 分の 2 の賛成が必要という難問がありましたが、出席者と委任状合計は見事ハードルを越え、実行へと駒を進めることができました。ここぞという時には集結して事に当たってくださる同窓生の皆様の底力を感じ、背中を押していただいた気がいたしまして有難く感謝申し上げます。

6 月には代議員選出委員会を発足させ、今回別紙にて「平成 27 年度代議員選挙公示」と立候補応募用葉書を同封するに至りました。繰返しになりますが、代議員は総会に出席し議決権を持つことが前提であります。委任状も可でございますので、実践桜会のため、是非ご協力をお願いいたします。

また、代議員でなくても、総会へのご出席は歓迎いたしますし、後の懇親会こそ同窓会のパーティーとして大勢の皆様にご参集いただいて親交を深め、楽しい会にしたいと存じております。

平成 27 年 2 月末日には代議員の方々を公表し、5 月 17 日(日)に第 1 回目の代議員による定時総会開催の運びとなります。引き続き見守って頂きたいと存じます。

さて、本年の定時総会にはもう一つ大きな議事がありました。理事の交代です。2 年ないし 4 年のお役目を終えた 19 名の前理事に代わって再任を除く 17 名が新たに就任し、各部担当に戸惑いながらも懸命に努力している昨今です。このように跡絶えることなく先輩達が守り、維持してきた実践桜会の歴史を改めて振り返ってみたいと存じます。

学祖である下田歌子先生は 1901 年、桜同窓会を発足させ、自らが会長となられました。学業を終えた卒業生が集える場、活動できる場の必要性を考え、実践女学校

開校から遅れること 2 年目のことでした(実践女子学園の名称に変わるのは戦後です)。

学園卒業後も下田先生を慕う同窓生達は、先生を支え、学園の発展に大いに寄与したと聞いております。

あの時代に、女性一人で信念のみで学校を興し、大きなバックアップも資産もない中で、女子教育に邁進する下田先生を信頼し、応援する方々の中でも卒業生の力は計りしれないものだったと思います。先生は私財を貯える方ではございませんでしたから、経済的に晩年は特に厳しく、卒業生の多くの支えが学園の維持に大いに協力したことは容易に想像がつかます。

つまり、先生は学園と同窓会は支え合う二本の柱であると、当初からお考えになっていたと思います。

戦後、学園の教育現場では下田先生について多くは語られて参りませんでした。

2014 年 4 月「下田歌子研究所」を開所し、改めて先生の業績を顕彰する試みが始まりました。100 年を越えて、時代は今「男女共同参画」の言葉で溢れていますが、下田先生は、「やっと追いついてきたのね」と青銅のレリーフの下で微笑んでいらっしゃることでしょう。

(うらがみ じゅんこ)



一般社団法人教育文化振興実践桜会
平成26年度 定時総会



平成26年度
実践桜会
定時総会報告

平成26年度定時総会が5月18日(日)セルリアンタワー東急ホテルにて開催されました。総正会員数6,115名(平成26年3月31日現在)、出席者数178名、委任状4,438名で定足数を満たしましたので、定款17条により総会は成立、議題が審議承認されました。今年度は平成25年12月7日の臨時総会において定時総会の代議員制が議決され、それに伴う定款の改定が承認されました。



【議題】

1. 平成25年度事業報告の件
2. 平成25年度決算書承認の件
3. 公益目的支出計画実施報告書承認の件
4. 監査報告
5. 役員改選の件
6. 平成26年度事業計画及び予算の件
7. 定款改定の件

新役員の紹介
(平成26年・27年度)

理事長	浦上 淳子(昭37 短英)	文化部 常任理事	西向 みち子(昭47 大被)
総務部 常任理事	高田 恵美子(昭42 大国)	理事	菊池 美枝子(昭39 短生)
理事	鹿島 恵子(昭45 大被)	理事	佐藤 由紀子(昭41 大被)
理事	益 佳子(昭48 大英)	理事	小林 七美(昭48 短生)
理事	榎本 真由美(平24 院国博)	理事	本橋 早百合(昭53 短生)
事業部 常任理事	久保 きみ子(昭43 大食)	広報部 常任理事	建部 静代(昭48 大英)
理事	伊達 絹代(昭44 大食)	理事	松尾 千秋(昭43 短英)
理事	中島 千丘(昭47 大国)	理事	青山 マキ子(昭50 大国)
理事	植松 ちどり(昭49 大英)	理事	山口 みなみ(平26 院国博)
財務部 常任理事	佐藤 順子(昭42 高校)	監事	鈴木 克子(昭29 大食)
理事	浅野 薫(昭61 大被)	監事	浅賀 由紀子(昭37 高校)

*カッコ内は(卒年 科)

俳句を作る喜びと俳句教育

俳人・実践女子学園高等学校教諭 甲斐 由起子
(昭和 63 年／院国修)



俳句の道に入るきっかけ、 俳句の効用

私は俳句を作り始めてから、この世の美しさを知り、移ろう季節の中で懸命に生きる人間の美しさも知りました。

高濱虚子は、句作の効用について「一度び心を花鳥風月に寄する事によつてその生活苦を忘れ病苦を忘れ、例へ一瞬時と雖も極楽の境に心を置く事が出来る。」(『底本高濱虚子全集』所収)と述べています。まさに句作によって、花鳥の世界に思いを致すことで、生きるつらさや苦しさを忘れ、極楽の境に遊んでいるのだと思います。

私が日本の文芸に興味を持ったのは、大学の演習で『古今和歌集』中の和歌の配列や蕉門俳諧を学び、日本人の季節に対する繊細な美意識に感動したことによります。幼少時より、ものを創り出す人になりたいという夢はありましたが、本格的に俳句の実作を開始したのは、大学院に進学した時に指導教授の井本農一先生から、^{*1}「常磐松句会」への入会を許されて以降です。芭蕉研究の第一人者として著名だった井本先生は、無常迅速という観点で日常を愛でる大切さを教えてくださいました。

井本先生没後は、^{*2}「天為」主宰の有馬朗人先生に師事していますが、有馬先生は常々「世界平和のために俳句をやってください」と仰っています。私は、二人の師の教えを継承しつつ、日常の些事や自然から着想を得て写生という方法で、句を詠むように心掛けています。また表現においては、文語体を用い、格調と美を追求しています。

薄氷花びらほどの日がのぞき
遅き日の遠くが見えてあたりけり
うつしみの色さしきたり羽化の蟬
(『雪華』より)

三句目は、自分の指に這い上ってきて羽化した蟬を詠みました。羽化したての翡翠色の美しい翅が、あっという間に茶色に変色したところに哀れを感じたのです。

病み抜いて垢も浮き来ぬ柚子湯かな
紅を刷く冷たき死顔ほめらるる
花の色移れる骨や雪あかり
(『雪華』より)

第 36 回俳人協会新人賞を頂いた『雪華』は、亡き母に捧げた句集ですが、今読んでも、病み衰え、やがて死を迎え、骨となった母の姿が不思議と鮮明に蘇ってきます。亡き人が、言葉によって永遠に胸に生き続

けているからです。

教員という仕事と俳人との両立

私にとって、教員と俳人は相対するものではありません。命をいとおしむ態度や、美に対する感受性は両者に必要な資質です。

しかし、実際に職業としての教員の仕事と、俳人としての原稿書きや作品作りを両立させるのは、容易ではありませんでした。教員は生身の人間相手ですから、手抜きはできません。休日も場合によっては、家庭訪問をしたり、学校の仕事を持ち帰ることも多々あります。

家事と学校の仕事の合間に細々と俳句の仕事が続けてきましたが、両立が可能だったのは、どちらも好きだったからだだと思います。

実践女子学園での俳句教育

平成 19 年、松田由紀子校長の時に、感性表現教育の一環として、国語科の授業に俳句創作が導入されました。

霜柱を見たことがない虫が大嫌いなゲーム世代の生徒達に、どうやって俳句を作らせたらいののでしょうか。俳句を作るには、何よりも実感が大切です。初年度は、実践の校庭にある草花や空蟬を生徒に回覧して、実際に触ったり匂いを嗅いだり、手触りを確かめてもらいました。ところが、空蟬を回した途端、泣き出す生徒も出て、大パニック…。

次年度からは、実作の場を移動教室に移し、田植えや見学場所での体験を元に作品を作ってもらおうようになりました。「日本中あふれる命田植か



ら「田植して泥にまみれるいい笑顔」「早乙女や茶色く染まる膝頭」「田を植える泥の中より蛙の子」等実感の籠った佳句が生まれるようになりました。

俳句に宿る「力」

俳句には、たくさんの力が宿っています。まず、つながる力。句作によって詠む対象と繋がり、句会では人と人が繋がります。次に季語の力。季語は、日本人の美意識の結晶でもあり、本意を正確に詠むことで、過去と現在、未来にまで繋がるのが可能となります。三番目は、叙法の力。俳句は主語、述語の関係ではなく、切れによって成立する文芸です。句中に切れを入れることで、句を分断して間を作り、読者に想像の余地を与えるのです。

ですから、ただ一人で作品を作っているだけでは面白くありません。

作者が読者となって、句会でお互いの句を批評し合う時が、自分と他者との繋がりを最大限に実感できる場となり、一番盛り上がります。

現在は、授業時間の都合で俳句の授業は一年に一度だけですが、私は、生徒達に俳句を作ることで、日本語の美しさ気づき、この世の本当の美しさに触れてほしいと願っています。さらに、人生の中で、さまざまな困難に遭遇した折に、それら乗り越える力として、俳句を詠んでほしいと思っています。

俳句の世界は、やればやるほど、その奥の深さに瞠目します。今後は、大いなる自然に学ぶ気持ちを忘れず、小堀遠州が確立したと言われる、端正な美しさとももの侘びた佇まいを兼ね備えた「綺麗さび」の風姿を目指したいと思います。

(かい ゆきこ)



金子兜太氏と知床吟行にて

【注】

* 1 常磐松句会：元実践女子大学学長井本農一が自分の教え子を集め、旧桜同窓会館で行っていた句会。

* 2 天為：平成2年、元東大総長・元文部科学大臣有馬朗人が東京で創刊した俳誌で俳句結社。師系、山口青邨。

【プロフィール】

平成7年「祥」新人賞。平成18年「天為」新人賞。句集『雪華』で、平成25年第36回俳人協会新人賞を受賞。俳人協会幹事・日本文藝家協会会員。石田波郷新人賞選考委員。主な著書、『春の潮』『近代俳句の光彩』等

夢を持ち続けて

『キャッツ』の舞台に立つことを夢見て

中高時代一番の思い出は、終礼後一目散に向かったお稽古のことです。幼い頃から芸能界、特に劇団四季のミュージカルに強く惹かれ、『キャッツ』の舞台に立つことを夢見て、バレエや声楽等のレッスンに通っていました。

そんな私の、遅れがちになる勉強をサポートしてくれた友達や先生方のことは、今も忘れられません。ご近所に住むある先生は、夏休み中、毎日ご自宅に招いて根気よく英語を教えて下さいました。みんな私の将来の夢を知り、応援してくれていた

のです。

その励ましに、どれほど勇気づけられたことでしょうか。そんな学園生活で、最大の楽しみは友達とのおしゃべりでした。遊ぶ時間もない私は、カラオケや渋谷の109の話ワクワクしながら聞いていました。

研究生として劇団四季に入団

実践を卒業後、劇団四季に入る準備として、桐朋学園短期大学に進学しました。そして二年後、劇団四季のオーディションに合格し、研究生としてミュージカルの基礎を叩き込まれる日々を送ることになりました。

四季での生活は、想像以上に厳し

く、夢や憧れだけでやっていけるような甘いものではありませんでした。挨拶は勿論、先生よりも後にお稽古場に入ってはいけない等々の礼儀や規則、能力の限界を試されるレッスンなど、明るく華やかな舞台の裏に、一般社会以上の過酷な現実があるのを初めて知りました。

四季はミュージカル界で群を抜く劇団で、研究生といえども求められるスキルは高く、実力がなければ次々淘汰されていきました。同期の中で今も四季に残っているのは約10名。実は私も1年後、声楽の試験に落ちて退団することになってしまいました。ダンスは得意だったのですが。

ミュージカル女優 大西 絢子

(平成20年／高校卒)



音楽座との出会い

その後、様々な劇団のオーディションを受け、そして「音楽座ミュージカル」に出会いました。

音楽座は、日本文学をもとにしたオリジナルの脚本でミュージカルを上演し、1988年の旗揚げ以来の観客動員数170万人を誇る劇団です。真実味を問いつける独自の精神性とオリジナリティが高く評価され、文化庁芸術祭賞、紀伊国屋演劇賞、読売演劇大賞など数多くの賞を受賞しています。まさに私が目指していた世界でした。私は音楽座で、念願のミュージカル女優としての第一歩を踏み出すことができました。

あれから4年、年間を通して3～4作品、約60日間舞台に立ち、公演の間には次の作品のオーディション・本読み・歌や踊りのレッスンという日々を送っています。

自分の力を感じながら生きる

「生きる」をテーマにした音楽座の

作品は、日本人の心に訴える・共感を呼ぶ作品です。私は、役の1人として作品の誕生に参加できる幸せを強く感じています。幼い頃から目指していた道に進み、自分の力を感じながら生きる毎日は、とても楽しく充実したものです。

最後に、これまでずっと見守り支えてくれた家族と、応援して下さった周囲の方々に心から感謝するとともに、私と同じ道を目指す後輩達に、「夢を持ち続けて」という言葉を贈りたいと思います。

(おおにし あやこ)



[プロフィール]

劇団『音楽座ミュージカル』で活躍中。遠藤周作の『わたしが・棄てた・女』を脚色した『泣かないで』に出演、他多くの舞台に出演

家庭科教育を一生の仕事として

全国高等学校家庭クラブ連盟 一般財団法人家庭クラブ事務局長 **大野 由喜子**
(昭和50年 / 大食卒)



出会いの中で育てられ

私が38年間、家庭科教育に携わることができた要因は、恩師である染野亮子先生と2人の先輩との出会いにあります。

染野先生は、家政学部食物学科4年Bクラスの担任で、教員採用試験に合格した私に、小河原俊子先生をご紹介くださいました。

小河原先生には、県立南教育センター（現在、総合教育センター）の

指導主事として、教科研修をはじめ教師として成長していく過程で、大変、お世話になりました。13年間、県立高校で勤務した後、私も教育センターの指導主事を拝命し、小・中・高等学校の家庭科を担当しました。先生は、指導主事の重責を担う私に、「何かあったら相談しなさい。頼りになる立派な先輩です」と高橋ヨシ子先生をご紹介くださいました。

主管校として大会を成功させる

当時、高橋先生は、東京都教育庁家庭科担当の指導主事として活躍され、その後、都立教育研究所にご栄転された際も何度かお訪ねし、都立高校の授業実践の紹介、研修会講師の人選等でお世話になりました。

平成22年には、第6回全国高等学校保育教育研究大会の主管校を務めました。主催は、全国高等学校長協会家庭部会、財団法人全国高

等学校家庭科教育振興会で、事務局長は高橋先生でした。

私は、主管校の教頭として先生のご指導を受けながら、家庭科教員8名(うち2名が実践の卒業生)と協力し、大会を成功させることができました。

平成23年、先生は実践女子大学教職課程の教授に就任後、『教職・図書館学通信』の刊行を提案されました。その際、卒業生の代表として原稿を書くことを薦められ、「教師に求められる『四つの力』」と題した文章

が創刊号に掲載されました。

生涯現役を目指す

お二人の先生には「高等学校の家庭科教育の充実発展」という共通の目的を持った同窓生として、これまで、いろいろな場面でご支援を頂きました。

今度は、私が後輩のためにその使命を担う立場にあります。第一歩が、実践家庭科研究会(大久保洋子会長)の活性化です。私は、役員の

1人として教職に就く卒業生のネットワーク化に力を注ぎたいと思います。10月5日(日)には、平成26年度総会・研究協議会を渋谷の新校舎で開催します。(おおの ゆきこ)

[プロフィール]

埼玉県立鴻巣女子高等学校長を経て現職。家庭クラブ連盟は、高等学校で家庭科を学ぶ生徒の活動を推進・助成する団体として、全国高等学校家庭クラブ研究発表大会、同指導者養成講座、各種コンクール・コンテスト等を開催

大学における男女共同参画を推進

大阪教育大学 教育学部教養学科健康生活科学講座 教授 博士(医学) 永井由美子
(平成3年/院被修了)



まだまだ少ない女性の登用

大阪教育大学に赴任して17年目に入り、実践女子大学で学び、研究者として育てて頂いた年月よりも長くなりました。この間に、高齢者の居住温熱環境に関する研究と学部や大学院での教育に従事してきましたが、この春から男女共同参画推進担当学長補佐として大学運営にもかかわっています。

アベノミクスの主要政策として女性活用が掲げられていますが、大教大の平成25年度における女性教員比率は23.9%であり、国立大学86大学中上位5位で、女性教員の多い大学です。しかしながら、職位による男女比は異なり、教授における女性教員比率は17.9%と低く、大学運営を支える職員の女性管理職も少ないのが現状です。

独自のロールモデルを発表

男女共同参画推進会議企画専門部会では、一昨年策定した「大阪教育大学男女共同参画推進行動計画」

に沿って、6月の男女共同参画週間には、外部講師を招聘して教職員セミナー(今年のテーマは、ダイバーシティ推進の意義と課題)を開催、7月のオープンキャンパスでは“大教大ロールモデル2014”を高校生や保護者に配布、秋には附属中学の生徒が考案した男女共同参画推進のロゴマークを披露します。

さらに、男女共同参画をテーマにした授業の実施、研究助成事業の採択、附属中高における研修、授乳室の整備など、啓発活動や子育て支援と多岐に渡り活動しています。

ロールモデルは近年、大学や企業では積極的に作成して公表しています。他大学では“リケジョ”と呼ばれる理系の女性研究者や大学院生のロールモデルが多数です。大教大では初めての取り組みでしたが、後発組という弱点を逆に利点として、他とは違うものというコンセプトで作成しています。大学構成員である教員、職員、社会人大学院生男女数名をロールモデルとして依頼し、高校生に対してキャリア形成の刺激となるよ

うに工夫しているところが独自のオリジナルであります。

より良きワークライフバランスへ

学長補佐を務める上でしんどいことは、次から次へと対応するという多忙な日々ですが、この役職で嬉しいことは、何と言っても1人では決してできない大きな課題を教職員の方々と共に向き合い、達成させて、充実感が得られることです。

将来の夢は、大学内での学会や講演会開催の際に、幼児の臨時託児所を、それを発展させた保育所を併設できたらと思っています。大学構成員すべてがワークライフバランスの良い状態を持続できれば、大学の更なる発展にも繋がると信じて日々頑張っています。(ながい ゆみこ)

[プロフィール]

大学助手を経て、昭和大学にて博士(医学)を取得。科学技術振興事業団科学技術特別研究員として厚生省国立公衆衛生院に勤務。その後、大阪教育大学講師、助教授、准教授を経て平成24年より現職

人生最終章に向かって

コーディネーター 神田 美智子
(昭和 49 年／高校卒)



何か人より自慢できるものを

1987年にフランスへ渡り、あっという間に30年近くの時が流れようとしています。当初は、ここまでこちらに根を下ろすとは思っていませんでしたが、自分の思うがままに、好きなことだけ追求してきたら、いつの間にか人生最終章に入ってしまった。

まず、フランスというと、誰もが花の都、パリを思い浮かべると思いますが、私の場合は最初からスキーというスポーツ、その遊び場であるアルプスがキーワードで、大学を出ても何も残らなかった自分の不甲斐なさに、何か自分が人よりも少しは自慢の出来るものをと志し、スイスのフランス語圏に語学留学をすることになったのが、事の始まりでした。

6か月間の語学留学で、何とかフランス語を物にした私は、その後海外スキーツアーの旅行会社に勤務し、添乗と称してヨーロッパアルプスのあちこちのスキー場へ足を運ぶうちに、今度はその魅力を伝える仕事をしたいと、スキー雑誌の海外特派員として、こちらのスキー情報を記事にしたり、スキーシーズン以外は世界各地の魅力的な場所を取材するクレジットカードの刊行誌の仕事を受け、世界中を取材旅行してきました。その間に現在の主人とシャモニーで知り合い、結婚、2人の息子を出産し、

夫に協力をしてもらいながら、自分のはわが道を行くで、仕事人間として生きてきました。

ワールドカップやオリンピックを取材

1994年には、主人の関係の山の旅行会社が、その当時ブームの兆しが見えてきたヨーロッパアルプスハイキングツアーを企画。そのため、フランスの現地法人の旅行会社、アルプ・プランニング・ジャポンを設立し、現在に至っています。

私自身はスキー関係の仕事から、スキーメーカーの専属通訳をしたり、スキーのワールドカップの取材や、1992年地元のフランス、アルペールビルで行われた冬季オリンピックから、NHKのコーディネーターとしてオリンピックやサッカーのワールドカップなど大きなスポーツイベントで働くことになりました。

今年の1月から3月までもソチのオリンピック、パラリンピックに出かけましたが、カナダでゴルフのレッスンプロをやっていた長男の翔大も一度は、そういう仕事をしてみたいということで、今回は親子でNHKにお世話になりました。

コーディネーターという仕事

コーディネーターという仕事は、いろいろあります。

例えば、テレビ番組のコーディネーターを頼まれる場合、それについて

相手側のアポをとって、実際、日本からクルーが来た時には、全てセットアップしておくという取材コーディネーターであったり、NHKでは中継コーディネーターという仕事も託されたりします。

これは、現地にNHKから誰も来ず、私がNHKの代表のような形で、映像の権利を買っているスポーツの世界選手権等で、国際映像を滞りなく現地から日本に送るためのコーディネーター等も行っていきます。オリンピック等では、そのスポーツのスペシャリストとして、関係者とのコネクションを取って、事前にインタビューの約束を取り付けておいたりします。

長野オリンピックの時には、当時の久保純子アナウンサーが世界の有名選手にインタビューをするという企画で、アルベルト・トンバとのインタビューを取り付け、イタリア語の同時通訳みたいな事も行いました。

到着したら、ホテルが未完成

ロシアには、それまでに何度か訪れたことが有り、どうしても昔の共産主義政権のイメージが強かったのですが、あれからわずか20年あまりで、一般人の暮らしは、全く西側諸国のヨーロッパと変わらなくなっていたのにはびっくりしました。政府批判も大っぴらにするし、自分の意見をちゃんと言えぬ雰囲気は流れていました。

ただ、今回ソチに到着した時に、今までのオリンピックでは無かったことが起こりました。私達が泊る予定にしていたホテルが完成していませんでした。

新しく作られたリゾート村は、立派



左/長男、翔大氏とソチオリンピック、スキー・モーグル会場にて
右/ソチ空港で、オリンピックの時に一緒に仕事をしたNHKのメンバーと

な外観は出来ているものの、内部にはまだテナントが入っておらず、通りには、工事作業員が右往左往。私達が到着して1週間ぐらいしてから、徐々にお店が整い始め、オリンピックが終わる頃になってようやく全てが整ったというお粗末ぶり。末端の作業員への未払いなど、ロシア社会の様々な事情が反映し、遅延の原因に

なったということでした。

1992年、初めてオリンピックの仕事をさせて頂いた時から、22年、ソチオリンピックと一緒に仕事をした息子がその時、4歳だったと思うと、感慨深いものが有ります。

これからの人生は、新しく購入したシャレー・ジャポニヤールに、我々を慕ってシャモニーに来て下さる人

達を迎え入れ、皆さまと素晴らしいシャモニーの風景を共有し、最終章を満喫したいと思っています。

(かんだ みちこ)

[プロフィール]

早稲田大学卒業後、海外スキー等の取材コーディネーターとして国際的に活躍。英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・スペイン語が堪能。シャモニー在。

女性税理士連盟の一員として活動

税理士 小島みどり

(昭和55年/大英卒)



結婚後に簿記の勉強を開始

実践の渋谷キャンパスに近い、港区の西麻布で税理士事務所を開業しております。

家が渋谷キャンパスに近かったこと、祖母が実践に通っていたこともあり、中学から入学、大学までの10年間を、実践でお世話になりました。卒業後は、実家の家業を手伝い、30歳のときに結婚しました。そのころ実家の事業で、経理をみることとなったため簿記の勉強を始めました。簿記の勉強は新鮮で、自分の性に合ったようです。通っていた簿記学校が税理士試験に熱心な学校だったこともあり、日商簿記2級を取った後、税理士試験の勉強に進みました。

税理士試験は、会計科目、税法科目、合わせて5科目に合格する必要があり、当初、3年くらいで取れるだろうと、軽く考えて始めたのですが、結局合格に10年かかってしまいました。

感謝の声に励まされ

平成12年試験に合格し、実務経験を積むため、会計事務所に勤務した後、平成17年の秋に、独立開業、現在に至ります。この仕事についてよかったと感じるのは、申告書の提出など依頼された仕事を終えた時や相談を受けた時に、お客様から、感謝の言葉をいただいた時でしょうか。

仕事としては、本来の税理士業務の他に、所属している会の会務活動があります。小学校へ租税教室の講師として派遣されたり、無料相談会の相談員として、街頭に出ることもあります。その中でも特に全国女性税理士連盟の活動は、現在、大きなウェイトを占めています。

女性の立場、視点で活動

全国女性税理士連盟は、女性税理士が加入する全国組織の任意団体です。モットーは、よく学び、よく遊んで、研修会を開催したり、ハイキ

ングに行ったり。そして、対外的には、さまざまな要望活動も行っています。

入会当初より参加している制度部では、選択的夫婦別姓制度の導入を求めて、民法改正の請願活動を継続して行っています。また、男女共同参画推進室の設置を求める要望書を日本税理士会連合会に提出したところ、思いもよらず、了解を頂き、準備を進めているところです。

女性税理士連盟では、もちろん男女に関わらない税法の要望も行いますが、女性の団体でなければ出来ないような女性の立場に立った要望を行うことを大切に考えて活動しています。

これらの活動を通して、視野が広がり、自分自身大きく成長できたと思います。また、受験勉強の頃から、今まで、ずっと応援、協力してくれている友人や家族への感謝の気持ちを忘れたことはありません。

(こじま みどり)

[プロフィール]

平成12年 税理士試験合格後、小島税務会計事務所を開業。東京税理士会 制度部委員 東京税理士会麻布支部 広報部員。全国女性税理士連盟 税制特別委員会副委員長

左 / 全国女性税理士連盟東日本支部総会
右 / 税を考える週間の無料相談会にて



歌子先生 英国巡り会い 3

ロンドン借住居—ゴードン夫人とエドワーズ夫人

実践女子大学 文学部英文学科 教授

大関 啓子



下田歌子先生が欧米視察で出会い、影響を受けた人物のご紹介も第3回目となりました。今回は、先生がロンドンで生活した二軒の家の女主人、ゴードン夫人とエドワーズ夫人についてです。

歌子先生は、欧州女子教育視察のために、1893年12月から95年6月までのおよそ1年半は、ロンドンを拠点に活動していました。その間ずっと、エリザベス・A・ゴードン夫人宅に下宿していたとされていました。しかし1991年に私が英国チェルトナム・レディーズ・コレッジで、先生の直筆英文書簡を発見したこと(『なよたけ情報版17号』掲載)によって、先生はもう一軒の家に移り住んでいたことが判明しました。

ゴードン夫人宅(写真①)は、残念ながら、その続きの棟と共に1936-7年に取り壊され、鉄筋10階建の2棟のマンションに建て替えられています。現在、その隣に残る並びの建物から見ると、玄関の両脇に円柱を配した、地下1階・地上5階建ての壮麗な建築だったことが想像できます。その裏には、住人専

用の庭園(写真②)もあり、英国貴族の住まいとして、歌子先生が下宿するには、申し分のない環境であったことがわかります。

一方転居先の家(写真③)は、ゴードン夫人宅からゆっくり歩いて10分程の、ヴィクトリア&アルバート博物館に近い、ロンドンでも閑静な高級住宅街にあります。今もその当時の建物が現存していて、歌子先生が生活した環境を、直接目にすることができます。その建築は、地下1階・地上4階建ての、アーチ形を成す瀟洒なテラスハウス(写真④)です。そのすぐ横には、住人専用の庭園もあり、現在でも極めて恵まれた住宅環境が保たれています。

なぜ、歌子先生は、ゴードン夫人の家からそこへ転居したのか、またそこでどのような人々と生活していたのでしょうか。その疑問が、長年私の中にありました。およそ120年前のロンドンの住人について、どのように調べたらよいのか。一朝一夕で、歴史は相貌を明らかにしてくれません。



写真① ゴードン夫人宅跡(左の様式と同じ建物が、右の鉄筋マンションの所にあった。右奥はV&A博物館)



写真② 家の裏の公園側(歌子先生もここで寛いだはず)



写真④ その周辺（アーチ型の通りで、中央の木の部分）[写真はいずれもロンドンにて大関撮影]

写真③ エドワーズ夫人宅(2本の木の間の部分の4階建て)

そして到頭、昨年の英国調査で、その家の女主人の存在を、初めて明らかにすることができたのです。その名は、スザンナ・エドワーズ夫人。1851年から50年間の英国の国勢調査の記録を、丹念に調べました。当時の記録は、すべて手書きで保存されていたので、判読に苦労しました。その結果、様々な事実が浮かび上がってきました。

エドワーズ夫人はサセックス生れで、その夫の名はサミュエル・エドワーズ、ウェールズ出身で夫人より4歳年上でした。彼の職業は大工。夫人は夫の仕事を手伝う傍ら、早くから下宿業を営み、家計を支えていました。1851年、彼女が30歳の時には、既に2人の下宿人を置き、そのための使用人も雇っています。

元々は同じ町内のもっと小さな家に住んでいたのですが、1850年生まれの子供を筆頭に、五男一女の子供達が成長して同居し、手狭となったため、1871年にはより大きなこの家に転居してきました。夫の大工業は自営ではなく、雇われ大工でしたので、収入は限られていて、妻と6人の子供を養うには十分ではなかったのです。エドワーズ夫人が子育てに忙しい中、下宿業を始めたのも、家計を支える必要があったのでしょう。

西洋婦人は今已むを得ず外に出て働いて、餘儀なく虚勢を張って居るやうな姿であると申す人がありますが、全くそんな傾きがないでもありません。中流及び其以上の階級までも、家庭では却々男子獨りの収入を俟つ譯にもいませぬ又器械の發明進歩が著しくなつて、一般の設置の行き届いた社會では、家事には手をかける點も

すくのございますので、外出も出来易いといふ有様で御座います。およそ西洋に於ける程、貧富の差別の甚だきはございますまい。

(「家事の大要」『愛国婦人』第316号, 1915)

歌子先生は西洋婦人について、このように書いていますが、夫の働きでは生活できず、共働きして高収入を得ようとすれば、子沢山の夫人としては、下宿業が一番効率の良い仕事だったのです。

こうした状況から判断して、エドワーズ夫人は、大工の御上さんとして、五男一女の母親として、生活力旺盛な肝っ玉母さんという女性像が浮かび上がってきます。彼女の下宿業は好評だったようで、常に二人、しかも女性の下宿人を同居させていました。

先生が住んだ当時、エドワーズ夫人は未亡人となり、子供達はほとんど独立していました。長女のスザンナと、女性の使用人一人と共に、ひっそりと暮らしていたのです。長女のスザンナは母と同じ名前です。1852年生れ、この時43歳でした。彼女は当時の庶民の女性としては珍しく、高等教育を受けていて、独身でした。歌子先生は、自分より2歳年上のスザンナとは、おそらく女性教育や生活について、日常いろいろと語り合ったと思われます。さらに四男のエヴァンとその家族は、遠く日清戦争の最中の中国(清国)に住み、おそらく夫人の心配の種であったでしょう。73歳のエドワーズ夫人にとって、息子のいる遠いアジアからやってきた女性、歌子先生が存在するには、特別な思いを抱いたに違いありません。一方、先生にとっても、生活費も安く、気兼ねなく過ごせる居心地

の良い下宿であったのでしょ

しかし、歌子先生がエドワーズ夫人宅へ転居した最も大きな理由は、その教育方針の転換でした。最初の下宿先のゴードン夫人は、マンチェスターのブルジョワジーの出身で、スコットランドの名門の男爵家の長男に嫁ぎ、二男三女の母親で、裕福な家庭を営んでいました。日本や仏教に関心を持ち、比較宗教学の研究をしていた親日家であり、

「余が倫敦に到り着きぬる始めより、無二の親友として、^{あた}恰かも同胞姉妹の如き、最と深切なる助けを受けし一夫人ありけり」(『泰西婦女風俗』1899)

として、歌子先生にとっては申し分のない下宿先でした。夫人は1907年に再来日し、歌子先生と旧交を温めています*。

歌子先生の転居の大きな理由は、1894年8月1日、日清戦争の宣戦布告された日付の、歌子先生の日本への手紙にありました。それは佐々木高行伯爵宛で、欧州での滞在期間延長を希望するものでした。その時、先生は遠く英国から日本の情勢を見て、欧州列国の脅威を感じていました。憂国の気持から、日本の将来への「百年の善後策」のひとつとして、日本の教育の根本を改革し、多くの人々に教育の機会を与え、社会に貢献できるようにすることを考えました。その手紙の中で歌子先生の詠んだ歌です。

もろこの原の民草かりて後

いかなる種をまかんとすらん

それは、日本の国民教育の一環として、女子教育、しかも華族女学校のような上流だけではなく、中流以下の女子の教育に力を注ぎ、新しい教育の力で女性を育て、社会に改革進歩をもたらそうとしたのです。歌子先生はこの後、1895年(明治28年)に欧州から帰国後、準備を進め、3年後の1898年(明治31年)に帝国婦人協会を設立。翌年5月にはその最初の教育事業として私立実践女学校と女子工芸学校を創設し、さらに実践女学校附属慈善女学校及び女子工芸学校附属下婢養成所を開設します。

この手紙を境にして、歌子先生は、華族女学校学監としての高貴な女性の教育から、一般庶民の女性の教育に目を向け、視察の対象を、皇女教育から、中流以下の女性の教育と生活に向けていくのです。こうして英国での庶民の女性の教育を調査する中、エドワーズ夫人宅での下宿生活は、ゴードン夫人宅の



下田歌子先生

上流階級の暮らしに比べ、庶民の生活を知る上でも、大いに役立つこととなります。

ゴードン夫人宅と、さらに転居後のエドワーズ夫人宅での生活体験は、女性・子供・夫婦・親子等について、また家庭教育について、その当時の英国人の上流と中流階級の生活実態を観察する貴重な機会となりました。1894年8月1日付の手紙を境に、当初の皇女教育の準備のための一年間の欧州滞在を期間延長し、その目的を中流以下の女子教育へと向けていく過程で、歌子先生は経済的理由だけでなく、庶民の生活を体験するために、エドワーズ夫人宅への転居を決心し、その下宿先を選んだと思われます。エドワーズ夫人宅で庶民の生活を体験し、様々な実態を見聞きして、それらを鋭く分析しています。その成果は、帰国後の多くの著書に見えるだけでなく、日本の中流以下の女子教育を目指して開かれた、実践女学校と女子工芸学校の教育に活かされる事となりました。

*E. A. ゴードン夫人については、史学科卒の中村悦子先輩が、詳しい調査の結果を、既に国文科会誌『りんどう』に報告されているので、ここでは新たに判明した点に絞りました。

大関啓子 プロフィール

中学校から大学院修士課程まで実践を卒業。その後、学習院大学大学院博士後期課程を経て、ケンブリッジ大学客員研究員。現在、実践女子大学文学部英文学教授。国際チョーサー学会会員および日本中世英語文学学会会員。著書『中世英国ロマンス文学—ケルト道通』他。

地域交流会
レポート

自然消滅の危機を乗り越え、 福岡支部が再スタート!



福岡のシンボル・福岡タワーとベイエリア(提供:福岡市)

2014年11月、これまで本格的な支部活動を停止していた福岡支部が再スタート。地元女子校の教頭・玉井支部長のもと、実践OGが集まり、若い世代の参加も積極的に呼びかけています。その福岡の地で、浦上理事長就任後、初の地域交流会を開催し、今後の支部活動の活性化や支部の地域間交流などについて意見を交わしました。

出席者



玉井 由起子

福岡支部支部長、
福岡市立福岡女子高等学校
教頭



川端 眞樹子

福岡市立福岡女子高等学校、
主幹教諭



安藤 知代

福岡市立福岡女子高等学校、
英語講師



浦上 淳子

実践桜会理事長



玉井 由起子

これは「やるしかない」と、 引き継ぎました

玉井 本日はお忙しいところを福岡までいらしていただき、ありがとうございます。支部の活動が復活し、こうして皆さまをお迎えできたことを大変うれしく思っています。

浦上 福岡支部の再興、おめでとうございます。本当に祝杯をあげたい気分です。今日は、桜会と支部の活発な活動に結びつくように情報交換をしたいと思います。実は、地域交流会をこういう形で開くのは、私が理事長になって初めての試みです。以前から皆さまと親しくお話させていただきたいと思いながら、なかなか機会がありませんでした。今回、福岡をお訪ねし、同じ学会で過ごした仲間とお会いできたことには、格別な思いがあります。これも下田先生が結んでくださったご縁ですね。では、支部再興の経緯をお話いただけますか。

玉井 実は、ここにいる川端さんとは被服学科で同級生でした。ご指導いただいたのは、飯塚先生です。十数年前、川端さんと福岡支部の総会に1回だけ参加したのですが、いま考えると、どうもそれが最後の総会だったようです。その後、支部長の迫^{さこ}幸子^{さちこ}様から急にお電話がありました。高齢なので、自分に代わって支部と支部長を引き継いでくれないかというご依頼でした。たまたま、同じ実践出身の川端さんもいることだし、二人で継いでほしいと。

浦上 桜会でも、迫さんとは以前から連絡をとっていました。前任の方が施設に入っておられ、自分もいつまで続けられるかわからない。このまま自然消滅させたくない、おっしゃっていました。

玉井 3月に迫さんにお電話したら、体調を崩され、これ以上続けていくことができない。後継者がいなければ、閉会せざるを得ないというお話でした。それで、「もうやるしかない」と決意したわけです。

浦上 各支部も若い方がなかなか集まらないのが悩みの種ですが、迫さんはとてもうまく繋いでくださって、すばらしいですね。

九州の支部間交流も 深めていきたい

浦上 福岡支部のメンバー構成はどうなっていますか。

玉井 会員はいまのところ40名。そのうち平成卒が3人と、少ないのが残念です。若い方にどんどん入会していただこうと、ホームページで参加を呼びかけています。「クラス会をやりましょう」というノリで集まっていたら、会員相互の親睦会を兼ねるのも一つの方法ですね。いまの若い方は研修会を好むので、なにか魅力あるプログラムを組んで、参加を呼びかけたいと思っています。

浦上 人口減少と高齢化の流れの中で、全国で若い会員の方を増やしていくことが大きな課題になっています。

玉井 各支部が頑張らなければいけませんね。今後は、手紙とインターネットの両方の手段を使って、幅広い世代が交流できる仕組みをつくっていきたいと考えています。ところで、今年の5月、セルリアンタワーで開催された総会で、島根支部長の^お大谷^様と席がお隣同士になったのがきっかけで話が弾み、学校の特別講座で香道を教えていただくことになりました。

浦上 それは、ご縁ですね。実践ネットワークが、地域に根ざした文化活動を展開する素晴らしいプログラムだと思います。

玉井 うちの高校は市内で唯一の公立の女子校で、その特性を生かすため、カリキュラムの中に日本の伝統文化を取り入れています。そこで、趣旨をご説明し、お願いしたところ、快く引き受けていただきました。11月に開かれる福岡支部の総会でも香席をお願いしています。

浦上 私たちも、そうした支部間の交流が活発に行われているお話を聞くと、とても嬉しいです。

玉井 九州の各支部とも交流を深めていきたいですね。東北の「みちのく会」のように、県をまたがった、

いろいろな企画が考えられます。九州地区の支部長が輪番で回ってもよいですし、地域間交流を行いながらネットワークを繋いでいく。地域の特性を生かしながら、実践パワーを発信できる、企画が実現できるのではないのでしょうか。

下田歌子先生をキーワードに 交流文化事業を推進

浦上 地域懇談会の講演会などに出席しますと、参加された方たちから、よくお声をかけていただきます。男性からも、「母が実践の卒業生です」といわれることが少なくありません。そういう時、母校の重みと誇りを感じます。伝統校として、全国で活躍されている先輩、後輩が大勢いらっしゃるの、すごいことだと実感します。皆さん地域にしっかりと根をはり、地元を支えていらっしゃる方々ばかりです。

玉井 子供が東京に住むようになり、上京した折、新宿の地下道で「るぶ特別編集 JISSEN」を目にしました。最初は「おや」と思い通り過ぎたのですが、やはり気になるので戻って手に取りました。「なーにこれ」「何が起こったの？」と驚きです。多くの方が実践を知るきっかけになり、受験生にも役立ちますね。

浦上 いま、“オール実践”で母校を盛り上げていこうという取り組みを強化しています。120年の歴史の中で、実践の卒業生は全国で約15万5000人に上り、現在約7万人いらっしゃいます。もっと多くの方に桜



浦上 淳子

会に参加していただき、太いパイプで卒業生の結束を固めることが、私たちの役割だと考えています。

玉井 桜会として、今後どのような活動を強化されていく方針ですか。

浦上 何といたっても、支部あつての桜会です。支部活動が活発に行われなければ、桜会も停滞します。その意味で、先ほどお話のあった地域支部間の交流推進を積極的にお手伝いしていきたいと考えています。実践同窓会の第1回理事長は学祖・下田歌子先生です。

今後、下田歌子先生をキーワードにした交流文化事業を桜会が音頭をとって進め、全国支部の結束と持続的発展をバックアップしていきます。



新しく島根支部ができました



島根支部

大谷 香代子
(昭和49年/大国卒)



未来を生きる 子供たちのために

今年2月に発会いたしました島根支部でございます。

一昔前には、私たちの母よりも少し前、明治・大正の先輩の方々は沢山いらっしゃいました。先輩の存在は分かりやすいものですが、後輩の方々へのお声掛けがなかなかはかどらなく、苦戦を致しております。

そして、支部としての活動はまだ検討中なのですが、将来の日本、未来の人間、地球そのものを考えていくとき、将来のある子供達に何かを伝えていくのが、先を行く私たちの役目であると考えています。そういう中、自分の特技を生かして、地域の子供たちへの伝統文化



出雲文化伝承館での子供教室『日本舞踊』

の継承を続けて行く事をすでに行っております。出雲文化伝承館の博物館事業のなかで、「子供教室」を行っていますが、そのなかで日本舞踊を月2回すでに3年継続して行っている会員もいます。

人が生きて行く上において、時空を共にする地域との係わりは一番大切なことと考えます。母校の繋がりと地域社会とを結ぶとき、やはり会員一人一人に掛かってくるように思われます。

縁結びの島根、 歴史わきたつ島根

「ご縁結び」が島根県のキャッチフレーズであることは、実践桜会総会でご紹介させて頂きましたが、島根県の空港は、「出雲縁結び空港」という名称となっています。

昨年は、縁結びの神として名高い出雲大社で、六十年ぶりの遷宮による正遷座祭が行われて、たくさんの方々のお参りに賑わいました。本年は、出雲大社の宮司家禰宜さんと高円宮家典子様のご婚約が調い、誠に縁結びに所縁のある目出度さに、沸き立っているこの頃の出雲地方です。

山陰地方という言い方があります。それは、鳥取県・島根県を指しています。万葉時代の山陰には、万葉歌人の柿本人麻呂・大伴家持がそれぞれ石見国の官人・因幡国の国守となっており、その所縁の歌も数あり、「山

陰万葉を歩く会」なども設立されています。

この度、鳥取支部長様より「山陰地方で合同の支部会を開催しませんか？鳥取から島根に出向きます」とおっしゃっていただきました。出来立てほやほやの支部としましてはとても心強いお申し出により、二もなく開催する運びとなりました。

古代の話題が多くなりますが、全国各国に風土記作成の官命が713年に出された後、約1300年経た今日、唯一の完本として残っているのが、この出雲国の風土記であります。大和国と共に古代からの歴史の息づく風土です。銅剣・銅矛・銅鐸も沢山出土しました。「島根県立古代歴史博物館」で展示公開しております。その古代歴史博物館は、出雲大社のお隣に立地しています。

出雲大社・宮司家と 実践とのご縁

出雲大社の大神様を古くからお祀りしてこられた宮司家は、千家家の他にもう一家あり、北島家といいます。その北島家には、実践女子大学で昭和24年～昭和

58年まで教授をなさっていた三條西公正先生の三女様がお越しになっておりました。二家の御当主のことを「国造さん」「殿様」、奥様のことは「姫様」と当地ではおよびしております。

明治維新の明治5年に政府は、宮司家を現在の一家にしたものですが、室町時代1346年～1872年まで526年間にわたり二家(千家・北島)の両宮司家は、毎月交代でお祀りをなされていたのだったのです。

また、県都の松江市には、松江城が幕藩時代の姿を残したままに、天守閣のほか櫓もあり、またの名を千鳥城といっております。周りのお堀を巡る遊覧船もあります。「日本の面影」を記した小泉八雲ことラフカデオ・ハーンの旧宅も残されています。

観光案内のようになってしまいましたが、出雲弁というやわらかい方言がのこる、優しいゆとりある気質があります。また、世界遺産に登録されている場所があります。大田市の石見銀山遺跡と町並みです。どうか、桜会の皆様も出雲へぜひ足をお運びください。

(おおたに かよこ)

桜会・旅コレクション

島根へ出かけてみませんか



1 縁結びの社へ 出雲大社

いずもたいしゃ

大鳥居から松の参道を歩き、拝殿へ。右手には宝物殿、左手には大注連縄で有名な神楽殿が。荒垣(石垣や塀)に囲まれた境内には、堂々とした大社造りの御本殿(国宝)や摂社が建ち並び、厳肅な雰囲気。神門通りにあるご縁横丁には、甘味処や出雲そばの店、みやげ店などが立ち並んでいます。出雲市大社町杵築東 195

2 ミシュラン三つ星の名園へ 足立美術館

あだちびじゅつかん

庭園と横山大観のコレクションで知られ、陶芸館では北大路魯山人や河井寛次郎の作品を鑑賞することができます。注目はミシュラン三つ星の評価を受け、アメリカの庭園専門誌で11年連続日本一に選ばれた庭園。四季それぞれに見事な景観が広がり、ぜひ一度は訪れたい名園です。所在地/安来市古川町 320

3 美しい夕景にうっとり 宍道湖

しんじこ

水の都・松江のシンボルで日本夕日百選にも選定された絶景スポット。いくつかのビューポイントがありますが、遊歩道や階段状のテラスを設けた宍道湖夕日スポット(とるば)がおすすめ。夕日と、湖に浮かぶ嫁ヶ島の美しいシルエットにため息が出ます。日没タイムをチェックしてお出かけを。所在地/松江市袖師町

4 全国12天守の一つ 松江城

まつえじょう

天守閣は全国に現存する12天守の一つで、重要文化財に指定されています。屋根(入母屋破風)の形が、千鳥が羽を広げたようであることから、千鳥城の別名も。外観5層、内部6階の複合天守で、石落としの仕掛けなども。堀川めぐりの遊覧船からも、その雄姿を眺めることができます。所在地/松江市殿町 1-5

札幌支部

岩本郁子

(昭和 37 年 / 大食卒)

社会活動として健康づくりを支援



実践桜会札幌支部同窓会 平成26年6月8日 於：東王プラザホテル南園

去る6月8日(日)、支部総会・ミニ講演会・親睦会を開催致しました。

今まで出席されていた方がご高齢で出席できなくなる寂しさを感じる一方で、若い方々の参加を呼びかける為に魅力ある会を作り上げていこうと痛感致しております。今年は初めてご出席下さった方もあり、17名の参加を得て無事終了することが出来ました。

ミニ講演会のご活躍中の管理栄養士佐々木智子先生(昭和51年 / 大食卒)に『日頃のお食事をチェックしてみましよう』というテーマで、ご講演頂きました。健康で長生きするための秘訣は、私達にとって関心の高い有意義なものでした。

昨年の『若さの秘訣は食事から』と合わせ、健康づくり講演会を今年度の社会活動として行います。

支部会員のご協力を期待し、下記の日程で講演会を予定しています。

日時:2014年9月6日(土)

13:30 ~ 15:30

場所:藤女子大学 755 教室

札幌市北区北 16 条西 2 丁目

函館支部

宮腰泰子

(昭和 34 年 / 大英卒)

少人数でも年に一度の楽しみに

平成 26 年 7 月 5 日(土)、支部懇親会が函館山と海の景色が楽しめるウイニングホテル 7F で開かれました。今回は久しぶりの方が 2 名出席され、大変嬉しい会となりました。

初めに支部長より 5 月の定時総会のご報告があり、その後お食事を頂きながらひとときを過ごしました。年代は違っていても同じ学校で過ごした



思いは同じ、一瞬にして学生時代に戻ってしまいました。

少人数の支部ですので特別なことはなかなか出来ないのですが、年に一度七夕のようにお会いできることが何よりと思っております。来年は 1 人でも多くの方が出席されますことを期待しつつ、散会いたしました。

文責:本間佳子(昭和 44 年 / 短英卒)

岩手支部

吉清水裕子

(昭和 49 年 / 大国卒)

感動の講演会



去る6月8日(日)ホテルメトロポリタン盛岡にて、平成 26 年度支部総会と懇親会を開催しました。同時に、一般公開の講演会を併催。講師に星ゆきこ氏(岩手県職員)をお迎えして『長い長い道』の講演をして頂きました。全聾の重度障害の持ち主ながら、爽やかな笑顔で乗り越えてきた半生、そしてひたむきな努力で夢を諦めずに叶えられた体験談を拝聴し、一同大変感動させられました。

本年度役員改選で、各役員が新しく選任され、支部の発展と充実のため、スタートを切りました。

懇親会は昼食を頂きながら、終始和やかに、近況報告で盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。

宮城県支部

渡辺恭子

(昭和 39 年 / 大国卒)

今こそ下田先生の精神を

平成 26 年 9 月 27 日(土) 11:30 より、仙台国際ホテル(貴仙の間)にて、実践桜会みちのく会及び宮城支部総会を行いました。

講師:湯浅茂雄先生(実践女子大学・短期大学部前学長・実践女子学園下田歌子研究所所長)

演題:『下田歌子に学ぶ』

本年 4 月に新設された実践女子学園下田歌子研究所の活動内容を紹介して頂くとともに、創立者である下田歌子先生の業績と、そこから現在の我々が学ぶべきものとは何かをお話し頂きました。

秋田支部

境田幸子

(昭和 48 年 / 大被卒)

会員増強で活動を活発に

今年度支部総会は、6月7日(土)に 17 名の参加で開催されました。

最高齢 92 歳の荻野さんのお元気な姿と実践在籍中の思い出話を伺い、和やかに会を終えました。

また今年度活動方法についても、総会開催以外にも定期的に会合を開き、会員活動を活発にするための検討会を行うこととし、会員増強にも努めたいとの意見が多く出されました。

なお昨年度地方紙で秋田支部会員登録募集を行った際の方が全員出席され、より一層魅力的な秋田支部にしなければと、役員一同思いを新たにされた総会でした。

山形支部

相原陽子

(昭和 38 年 / 大国卒)

500 年の歴史 黒川能を鑑賞



今年度の支部総会は緑爽やかな 6 月 22 日(日)に、先輩・後輩、幅広い年齢層で集い交流しました。

今年度は実践桜会社会活動助成金のお蔭をもちまして、霊峰月山の麓、鶴岡市黒川地区の春日神社の神事能を鑑賞することが出来ました。会員の友人や能愛好家、また写真を趣味とする多くの方が参加され、仕舞能の後、能太夫のご好意により、装束・舞台の意匠・能面などのレクチャーを頂き、能面を実際につけての視野体験など、有意義で愉快的な中身の濃い研修会となりました。

参加下さった地元の方々から、貴重な体験が出来た事を感謝されました。

黒川能に関しては、歌人で評論家の馬場あき子氏の著書や、写真家の大石芳野氏の写真集もあり、両氏



共に度々訪れています。機会がありましたらぜひお運び下さい。

福島支部

山田厚子

(昭和49年/大被卒)

八重が愛した 鶴ヶ城散策

今年の支部総会は事務局の置かれている会津若松で開催しました。10年前に支部長を務められました中村澄子様にご助言を頂きながら役員会を重ね、7月6日(日)に割烹「萬花楼」で12名のご出席を得、会計報告・事業報告・総会の意義から存続にまで話が及びました。白虎隊の末裔高橋孝子様のご詩舞で懇親会は始まり、和やかな雰囲気の中、話は尽きませんでした。



総会後はNHK大河ドラマ『八重の桜』の舞台となった鶴ヶ城を、ガイドさんの説明の元散策致しました。天守閣からの眺めは素晴らしく、会津盆地が一段と美しく輝いておりました。会津葵シルクロード文明館でのティータイムで頂いたコーヒーの味は格別でございました。来年は地元自然薯のコース料理を、再来年は『おくのほそみち—山形秋田—』をご執筆されました田口恵子様の講演を予定致しております。

・今後の予定

7月27日 役員会

9月27日 みちのく会総会

茨城支部

久保田節子

(昭和40年/短英卒)

オカリナの音色に癒されて

梅雨の半ば天気を気にしながら、

6月21日(土)に総会を開きました。会員17名の出席を得て、無事終了することが出来ました。

午後からは13名の地域の方々にも参加して頂き、レストラン「オーボン アネックス」でオカリナとキーボードのコンサートを開催致しました。



桜会にちなんで『さくらさくら』の曲から始まりポピュラーソングの演奏があり、その合間に大小様々なオカリナを軽く吹き比べての説明もありました。オカリナに興味を抱かれた方もいたことでしょう。心に染み入るような音色に聴き入り、午後のゆったりとしたひとときを過ごすことが出来ました。

また来年も思い出に残るような企画をして、地域の皆様とともに楽しめる会を持ちたいと思います。

群馬支部

茂木初枝

(昭和45年/大被卒)

群馬の地で同窓の輪を広げ

6月15日(日)ホテルメトロポリタン高崎において第18回支部総会を開催致しました。終了後に、語り部として県内各地でご活躍中の同窓生、西山千代子様により地域の民話が身振り手振りを交え、情感たっぷりに語られました。続く懇親会は、余韻も冷めやらぬまま話題も増えて盛り上がり、より楽しいものとなりました。

年齢は40代から80代と、学んだ時代はそれぞれ異なりますが、同窓という輪でしょうか、どなたとも毎回楽しい会話が弾みます。今年も年齢にこだわらず1人でも仲間が増えることが会の願いです。

10月23日(木)楽しいランチの集



いを計画しております。6月に富岡製糸場がユネスコの世界産業遺産に選ばれました事は、群馬県民として大きな喜びです。私達は遺産の価値を改めて認識致しました。絹についてまた学びたいと思っております。

どうぞ機会がございましたら富岡へお出まください。

埼玉支部

小河原俊子

(平成4年/院食修)

支部総会について



6月28日(土)さいたま共済会館にて浦上理事長・田島学長・入試センター部長海野様・総企画部の内田様をお招きし、第18回総会・講演会を開催致しました。学園120周年記念一期渋谷校地完成にふさわしく、希望に満ち和やかな充実した会でした。そして、母校への協力の意気を新たに強く感じた次第です。

本部・学園の皆様からは、現状と取り組んでいらっしゃる課題について具体的なお話がありました。学長先生のご講演『知って得る食品の表示』は、ご専門の分野から分かりやすく資料を準備して説明され、学生に戻ったようなひとときを過ごすことができました。関心のある食品のことで、それぞれに問題意識を更に高揚させることも出来ました。

なお、10月7日(火)「彩の国めぐり」は、新島襄・八重夫妻ゆかりの地、上州安中市と老神温泉を訪ねます。ご参加をお待ちしております。

千葉支部

出家成子

(昭和47年/大被卒)

新支部長として

前支部長福村様から引き継ぎ、会員の親睦と、会員数拡大のための活動に取り組んでまいります。





本年度支部主催のミニ同窓会を復活させる予定です。第1回10月26日は、『実践の今を知る』をテーマにホームカミングデーにお邪魔します。

また、ときわ祭バザーに東日本大震災釜石・大槌復興支援協力として参加致します。どうぞご協力をお願い致します。

3月17日開催の第2回ミニ同窓会は、香取市で開催し、香取ネットワークを立ち上げます。現在8か所で活動している会員のふれあいの場ネットワークは、房総半島の東側海岸線にも展開していきたいと思えます。地域を大事にした支部活動に多数の皆様のご参加と、千葉支部へのご要望をお待ちしております。

- ・6/1 本年度総会・田島学長講演会 (27年度は5/31を予定)
- ・ミルフィユ発行(7月、11月、3月)
- ・主なネットワーク活動
- 11月『安井曾太郎展』見学と佐倉散策…佐倉・四街道・酒々井・八千代ネットワーク
- 美術館見学…松戸ネット
- 親睦会…いすみ・茂原ネット
- 12月 親睦会…ちばネットの集い

小田原支部 実り会

寺澤昭子

(昭和48年/大英卒)

実り会の由来

昨年、浦上理事長をお迎えして「小田原支部実り会50周年記念の会」を開催しました。

支部名「実り会(みのりかい)」は、「実践」の「実」を頂き命名しました。この会を通して同窓生同士の親睦が深まればいいな~という願いを込めたものです。

「実り会」は2年毎に開催し、次回



は平成27年秋を予定しています。神奈川県内にお住いの、今年卒業された方からずっと以前にご卒業された大先輩の方々まで、多数のご参加をお待ちしております。

今年支部長が交代しました。連絡先は下記の通りです。

寺澤昭子

TEL&FAX: 0465-43-7471

090-5562-1583

山梨県支部

大島節子

(昭和47年/短大栄養卒)

『花子とアン』 ゆかりの甲州弁

甲州弁は汚い方言日本一と言われ、何となく寂しい気分でした。しかしNHKの朝ドラマ『花子とアン』では、甲州弁の「てっ!!」「こびつと」が連発されています。今はほとんど使われなくなっている方言なので、ドラマを通して明治生まれの祖父母の会話が懐かしく思い出されます。一昨年の支部研修会での『山梨ゆかりの女性作家』の講演もあり、村岡花子をモデルにした『花子とアン』は、会員の話題となっています。

先日山梨県支部では、母校のバザーに送る匂い袋の材料ラベンダーの収穫を行いました。研修として、ラベンダー入りの可愛いフクロウの置物を製作しました。



10月15日(水)には

支部定期総会と、山梨県立博物館の学芸員を招いての研修会を山梨県立博物館で開催する予定です。今後も会員の親睦を中心にした楽しい活動に「こびつと」取り組んでいきたいと思えます。

長野支部

宮坂秀子

(昭和42年/短大被服卒)

母校への思い

長野支部は今年53名の新卒者を迎えました。

昨年6月信越放送



で井原徹理事長が母校の教育理念や今後の女子教育についてのお話をされました。会員一同ラジオを通して良き時間を共有できました。

10月1日の総会は34名が出席し、懇親会后、女優渡辺美佐子様のご講演『常盤の皆様へ』を伺いました。中高の思い出や女優の道に進んだきっかけなどのお話に、学園生活を思い出し感動致しました。

この講演会は一般の方も多く聴講され、翌日の新聞にも大きく取り上げられました。

支部役員会は6月1日に開催され、席上臼井玲子様から支部開設当時のご様子や、発起人のお一人望月富美子様の「常盤松 信濃のきずな とこしえに」の句と、校祖のご命日に合わせて10月の第1日曜日に総会を開催することになった経緯を、羽毛田慧子様のご披露され、一同母校への思いを深く感じました。10月6日に信濃美術館の学芸員をしておられる卒業生の講演と合わせて総会を予定しております。

新潟支部

寺澤昭子

(昭和41年/大食卒)

同窓生のバラ園をお訪ねして



5月24日定例の幹事会を開催し、本部の定時総会の報告と、代議員選出について了解を得ることができました。毎年この会で議題に上るのは、新会員募集と卒業生の支部会費納入のお願いの件についてです。いろいろ方法を考えていますが、会員数の減少は悩みの種です。

そこで支部活動の理解を得るため、会報の発行を改め、今年度も3号を発行する予定です。

会報で同窓生の活躍を紹介する記事の取材のため、先日バラが咲き誇る二宮邸をお訪ねしました。同窓生の二宮葉子さんが30年来育ててきた250本のバラや草花が見頃でした。二宮邸は築140年の歴史があるお屋敷で、約3000坪の敷地に美しい日本庭園があり、訪れる人々に癒しの時間を与えてくれます。

幹事一同「来年の総会はこのお屋敷で!!」と、一致した意見でした。

石川支部

紙谷玲子

(昭和42年/短大被服卒)

北陸新幹線 開通に向かって

来年4月に北陸新幹線が開通致します。金沢～東京間が2時間半となります。今、開通に向けて石川県内がざわめいています。ホテルや店舗が増え、その為能登へのアクセスについても色々考えられています。一度能登方面での会合を、とも考えております。会員の皆様、是非御出席ください。



福井支部

谷 洋子

(昭和42年/大食卒)

梅雨の晴れ間に



新緑が輝く7月6日に26年度総会を越前市粟田部町「料亭旅館寿屋」にて行いました。総会後の懇親会では、会員6名が豊かな緑に囲まれた会場で、越前の海の幸・山の幸を使った料理を頂きました。和やかな雰囲気の中、それぞれ近況を語り合いました。総会後には『万葉集』とも関わりの深い継体天皇ゆかりの地、味真野苑を訪れ、満開の花蓮を見学したり、越前和紙の里を散策したりと、梅雨の晴れ間にホッと和んだひとときを過ごしました。

静岡支部

鏡島真理子

(昭和52年/大被卒)

静岡支部活動報告



静岡支部は、発会以来地域の教育文化振興を目指し、公開講座を継続して開催してまいりました。

25年度の公開講座は、1月24日に蒲原梅花幼稚園ホールで開催され、静岡新聞等の広報により、30数名の地域の方々が集まり、『正法眼蔵』の講義と園児による文化発表と食育を兼ねた昼食の接待等を行いました。

同窓会新築の際、不要になった木製長机やパイプ椅子など懐かしい家具や食器を頂戴しました。おかげさまで、講義の資料を広げたり、昼食の接待にと、有効に活用させて頂き、当時の先輩諸姉のご苦勞を偲んでおります。

今年は立派な渋谷校舎も完成し、母校の建学の精神を改めて思い起こしましたが、静岡支部も、女性として生き方を磨く努力をささやかでも続けて行ければと思います。

今年度総会・公開講座は1月22日(木)に開催する予定です。

三重支部

竹腰 葵

(昭和44年/大英卒)

支部総会のお誘い

平成26年11月13日(木)に三重支部総会を開催致します。

事業・会計報告の後、松阪で会食をしながらゆっくりお話をしたいと思います。学舎での思い出や新校舎での実践の未来等も語り合えたらと願っております。

また今回は、三重県の三偉人の一人松浦武四郎氏の業績について、武四郎記念館の館長様からお話を伺うことになっております。どうぞ、初めの方もお気軽にお集まりください。

問い合わせ先

支部長竹腰葵 080-1615-4888

Takekoshi-ie@docomo.ne.jp

関西支部

今泉恭子

(昭和48年/大英卒)

貴重なお話に感銘



秋晴れの10月21日、理事長の浦上淳子様をお迎えし、大阪インターコンチネンタルホテルで総会・親睦会・講演会を開催致しました。理事長様には毎回ご遠方よりお越し頂き感謝申し上げます。

参加者40名、昭和14年ご卒業の黒瀬朝子様、昭和20年ご卒業の黒澤幸子様もご出席下さり、学徒動員や校舎が焼けた時のお話を伺い、一同深く感銘致しました。

その後関西学院大学文学部教授細川正義先生の『司馬遼太郎文学の魅力—坂の上の雲を中心に—』と題する、熱のこもったご講演を伺いました。司馬遼太郎の思いを知り、改めて偉大な作家であったと認識致しました。

6月3日に役員・地区委員・幹事合同委員会を開催し、以下のように決定致しました。

第82回総会・親睦会・講演会

日時:平成26年10月21日(火)

11時30分～

場所:大阪あべのハルカス

マリOTT都ホテル
講演会 「向田邦子の文学世界『男どき女どき』を中心に」
実践女子大学文学部国文学科教授
栗原 敦先生

鳥取支部

常田明美

(昭和41年/大食卒)

隣県との結びつきを強く

平成26年度役員会

第1回 6月8日(日)

・平成26年度定時総会の報告

・今年度の行事について

第2回 8月4日(月)

・11月1日(土) 2日(日)実施予定
の行事について打ち合わせ
行事予定

11月1日(土)

島根支部との合同同窓会

(会場:出雲大社の出雲伝承館)

11月2日(日)

島根県視察・見学(世界遺産の石見銀山)

この度正式に支部を発足された島根県の大谷香代子支部長とは、支部発足について以前よりお話しておりました。

また、大谷支部長は大学在学中から三条西先生より香道を学ばれ、郷里の大社で香道御家流和草会を立ち上げご活躍と伺いました。ぜひ香道についてお教え頂ければということで、鳥取・島根の合同同窓会を開催する運びとなりました。

岡山支部

谷本淑恵

(昭和54年/大英卒)

麗らかな春の日 大盛況の懇親会



岡山支部は14回目の懇親会を開催。今年も晴れ!

岡山国際ホテルのガーデンテラスで、春の日差しと爽やかな風を感じながら、シェフ特製ランチを頂きました。久しぶりの二桁参加、例年以上の盛り上がり。来年以降も期待大です!!

会員の故花房昌古様の作品展示が行われ、県内外から沢山の方が来て下さいました。それはそれは素晴らしいお細工物の数々で、新聞にも取り上げられました。花房様もお空の上からご覧になっていたことでしょう。

勝山のお雛祭りの時期に毎年開催



されることなので、ぜひ足をお運びください。

山口支部

根ヶ山祥子

(昭和61年/大被卒)

会員交流会で 久しぶりの再会



山口支部には現在100名を超える会員がおりますが、各々忙しく、2年に一度の総会も固定メンバーになってしまいがちです。そこで今年は、去年の支部総会に続き、会員交流会を企画し、もっと気楽に会員同士が集まれる機会を増やすことを試みました。

明治時代から続く老舗料亭で、お料理とともに町の雰囲気や建物を楽しみながら、徐々に先輩方との再会を果たせました。今後は県内の若者会員(と言っても50代)の3名が持ち回りながら、山口支部の運営をしていくことで了解を頂きました。

遠く離れてはおりますが、常磐祭には山口県の特産品をお届けし、少しでもお役に立てればと思っております。これからも山口の地から、実践桜会と実践女子学園の益々のご発展をお祈りしています。

愛媛支部

城徳かをる

(昭和41年/短生活卒)

学生時代に タイムスリップ



25年度の支部総会は、かんぱの宿「道後」で開催致しました。卒業以来初めて総会にご出席なさる昭和31年卒の方と待ち合わせ、互いに相手が分かるか心配しましたが、手にした葉書をきっかけに無事お会いすることができました。

別のお一人は在学中の常磐祭の冊子、写真、ご自身のノート等を持参されました。学生時代の自分に戻り、諸先輩方との楽しいひとときが瞬間に過ぎていきました。



桜会本部から頂いた資料を見ながら現況を報告し、母校の変わりように昔を懐かしみつつ、お互いの健康を願い散会致しました。

26年10月中旬の日曜日に、松山で総会を開催します。

佐賀支部

藤山たか子

(昭和49年/大食管卒)

支部発足50年の重み



紫陽花の花が一番美しいこの時期に、支部総会並びに懇親会をここ数年開催しております。早いもので今年は50周年を迎え、歴史ある佐賀支部の重みを実感した一日でした。

また、5月の定時総会の時には、新校舎を訪ね、近代的な大学への変貌ぶりに驚くと共に、実践の卒業生であることの誇りと喜びを切に感じました。

大学の益々のご発展と、同窓会の輪の広がりを願うばかりです。

大分支部

清水登美子

(昭和50年/大國卒)

支部会の報告

昨年10月26日(土)に大分支部総会及び懇親会を、大分センチュリーホテル李白で開催致しました。7名の出席でした。

まず5月に渋谷で行なわれた総会の報告をし、次に支部会の出席者が少ない現状に対し、どのような打開策があるかなどをテーマに話し合いをしました。

懇親会では、少人数ではありましたが、年代は違っても同じ実践で学んだ者同士、和気あいあいと思い出



話の花を咲かせました。

まだ参加された事のない方、また転居等で大分にいらした方、ぜひご連絡下さい。お待ちしております。

鹿児島支部

山口圭子

(昭和57年/大食管卒)

刺激を受けて



6月22日(土)「料亭竹千代」での総会に6名が集いました。挨拶もそこそこに、早速近況報告が始まります。喜び合ったり、うなずきあったり…。同窓会ならではの温かな空気に包まれるひとときでした。

総会では、昨年度の活動報告・会計報告、校歌斉唱と続き、桜会定時総会出席者より総会報告と見学した新校舎の様子などを伺いました。

何より興味深かったのが、定時総会参加者の方々とのおふれあいの話題。中でも英国支部長様、島根支部長様の活動のご様子には、皆わくわくしながら耳を傾けておりました。

お2人をはじめとし、パワフルな同窓生の方々に刺激を受けた私達。皆様のご活躍をお祈りすると共に、自分達も日々それぞれの場で励んでまいりたいものだと語り合いました。

沖縄支部

島袋節子

(昭和41年/短大生活卒)

支部総会及び講演会について

6月29日梅雨明け後の好天のもと支部総会が開催された。例年通り「定時総会」の報告の後(主に代議員制のこと)、事業報告・収支報告等が滞りなく行われた。

また総会后「講演会」を実施した。



講師は実践でも教鞭をとられたことのある先生で、自ら「ゲイ」であることをカミングアウトなさったユニークな方だった。

演題は『生きるとは～研究と活動とおして～』で、一同興味津々の中真剣にお話に聴き入った。「心の性は様々であり、社会通念やこうあるべきという固定観念にとらわれずに、それぞれ違う価値観や多様性を認め合い、誰もが自分らしく生きていける社会に変えていかなければならない」ということを、ご自身の研究と活動の状況とともにお話しになった。

そのことから、少なからず当日の聴講者は「性的少数者(LGBT)」について理解を深めたことと思われる。意義ある講演会であった。

ニューヨーク支部

細田美也子

(昭和61年/短大生活文化卒)

総会に向けて



NY支部では、総会を8月23日に開催予定です。

場所はマンハッタンで行う予定ですが、詳細は現在調整中で最終人数確認などしております。

英国支部

松嶋みどり

(昭和49年/大被卒)

総会に向けて



湯浅茂雄教授が海外研修のため、ケンブリッジ大学に客員研究員として2014年3月まで滞在していらっしゃることを知り、講演をお願いしました。『下田歌子と英国』というタイトルで、日本人会が運営する日本人倶楽部で2月22日1時から行われました。日



本クラブの会員の方々にメールで告知して頂き、参加者は12名(3名の支部会員を含む)となりました。1時間半の予定でしたが、最後に質問が続き1時間オーバーとなりました。

下田先生が120年前に英国滞在されていたことは、私たち同窓生としては感慨深い出来事で、湯浅教授に直接お話を伺えたことはラッキーとしか言いようのない幸せなひとときでした。3～40年以上にもわたり英国に在住の英国事情に詳しい方々に、下田歌子女史を紹介でき、皆様に大変な興味を持って頂けた講演会となりました。英国通の参加者からのご意見等も伺うことが出来、湯浅教授も参考にさせていただいていました。そして教授の温かいお人柄も要因となり、第2回目の講演を期待しているとのお声も聞かれました。

歌子先生が訪英後間もなく滞在された地ブライトンは、誰もが知る人気の海岸ですが、歌子先生の記述を1898年に撮影された写真と共に説明していただき、下田先生の生き抜かれた時代を実感することが出来ました。

講演会後は近くのパブで教授と会員の懇親会となりました。美味しそうにラガービールで喉を潤す教授は、英国を満喫され帰国後に研究の成果を発表するのを楽しみにされているようでした。

5月3日(土)、下田先生がロンドンで2番目に滞在された19 Pelham Placeを支部会員で訪れました。最初の滞在地61 Princes Gateは数年前に訪ねましたが、建物が建て直されていたので当時を偲ぶことは困難でしたが、今回は昔から変わらないであろうと考えられる建物でした。

下田歌子先生の英国での足取りを知ることは、在英実践女子学園卒業生としての誇りと頑張る力になっています。

実践ときわ会

科会長:古藤 黎子

実践ときわ会は、桜会協会の一つで、実践女子学園中学校・高等学校をご卒業になった方が入会できる科会です。勿論、中・高卒業後、実践女子短大や大学へ進学された方も、入会できます。



卒業生の多くを占める中・高卒業生の皆様のご入会を心からお待ちしております。

年間行事

■ときわ会総会

日時・会場 / 4月20日(日) 実践桜会会館
総会後、三遊亭道楽師匠による落語口演会

■渡辺美佐子主演『リア』観劇会

日時 / 6月4日(水) 14時

会場 / 座・高円寺

終演後、渡辺さん主催のお茶会で歓談



「リア」観劇後、渡辺美佐子さんを囲んで

■第2回初風緑さんが教える

「楽しく作ろう! 美しい体!」

日時 / 10月10日(金) 13時

会場 / 実践桜会会館 参加費 500円

■中高バザーに参加

日時 / 10月25日、26日

会場 / 中高アリーナ

■観劇会『黄昏にロマンス—ロディオンとリダの場合—』

渡辺美佐子、平幹二郎出演

日時 / 11月5日(水) 14:00 開演

切符代 5,000円

会場 / 吉祥寺シアター

■「祝・成人の会」協賛

日時 / 平成27年1月12日(月・祝)

会場 / 桃天館・カフェテリア

■『ときわ会通信』年2回発行(ことう れいこ)

実践技芸科会

科会長:中岡 久恵

会員の高齢化と人数減少により、大きな活動はできなくなりました。25年度の総会・懇親会は、渋谷エクセルホテル東急に於いて各教室



の手芸作品を展示して開催致しました。

年間行事

■バザー手作り品製作

日時 / 6月26日

主にアームカバーを裁断して縫製します。



■会報『技芸科会だより』46号 8月7日発行

■定期講習会 会場:実践桜会会館

定期講習会は夫々が楽しく続けております。中でもハーダンガー刺繍教室は参加者が多く、鮮やかな作品で教室が華やいています。

・ハーダンガー刺繍教室 毎月 第2木曜日

・染色教室(楓会) // 第2火曜日

・編物の会 // 第3金曜日

・日本刺繍教室(萌黄会) // 第1・3木曜日

■古切手収集 古切手を集め福祉団体に送る。

●連絡先:TEL & FAX 03-3307-6472

(なかおか ひさえ)

実践被服科会

科会長:松岡久美子

被服科会は大学、短期大学被服系卒業生の会です。

創立23年、400余名の方々にご参加頂いています。

講習会、見学会、勉強会等を通じて、会員の縦の繋がりを深めています。

桜会と被服科会を混同されている方がいらっしゃいますので、改めてお知らせ致します。

今年度から短期大学がなくなり、大学被服

学科も改称されている現在、当会は卒業学科の縦糸を繋げる大切な存在となっています。

渋谷に大学の一部と短期大学部が戻ってきたことが、科会にも新たな風が吹き込んでくれ

そうな気が致します。この誌面をお借りして、被服系卒業生にご入会のお誘いを致します。

ご入会は随時お受け致します。

今年度の事業活動は、既に2事業が終了しま

した。前回の文楽鑑賞教室が好評でしたので、12月に文楽本公演を鑑賞致します。

年間行事

■総会・懇親会

日時 / 4月19日(土)

会場 / 島根イン青山

キャンパス計画室長、生活環境学科

高田典夫教授にお話を伺いました。



参加者 58名

■講習会:キラキラビーズのラリエット製作

日時 / 6月28日(土) *終了しました。



製作風景

■見学会:目黒雅叙園百段階見学とランチ

日時 / 9月19日(金) *終了しました

■鑑賞会:人形浄瑠璃 文楽鑑賞

日時 / 12月12日(金) 14時開演

会場 / 国立小劇場

会費 / 4,500円

申込締切り:11月5日(木)

■会報誌発行

・歌ごろもニュースNo.18 6月1日発行

・歌ごろも23号 12月1日発行予定

■ときわ祭桜会バザー協力品製作

生草のプローチを製作、桜会に寄贈しました。

●連絡先:TEL & FAX 03-3721-9378

(まつおか くみこ)

実践家政科会

科会長:熊切富子

家政科総会に多くのご参加・ご支援を頂き感謝しております。

昨年に引き続き総会には田島学長にご出席頂き、渋谷の新校舎の事、日

野に理系の学部を残すための改装予定の状況等と、更に食物に関するご

専門の話題を頂戴致しました。

現在、家政科会としての目的を、社会のニーズに合わせ若い層の方達を支援する為の活動

とし、「アベノミクス」の方向に女性の力を伸ばしたいと考えております。学生や助手の方

を招待し、会員と共に講習会・講演会を続けて参ります。

皆様も是非ご参加ください。お待ちしております。

年間行事 平成26年度後半の予定

■観劇会『華々しき一族』

日時 / 10月19日(日) 昼の部

会場 / 三越劇場

出演 / 若尾文子・西郷輝彦 他

■年末助け合い及び海外医療協力会に

寄附

日時 / 12月15日(水)





■新年会

日時 / 平成 27 年 1 月 21 日(水)正午より
会場 / ハイエットリージェンシー東京

■講演会 『和食を考える』本多京子先生

日時 / 平成 27 年 3 月 8 日(日) 13 時より
会場 / 創立 120 周年記念館

●連絡先:TEL & FAX 045-571-0213

(くまきり とみこ)

実践国文科会

科会長:若松幸子

国文科会の行事は下記のように開催されています。どうぞご参加ください。



年間行事

■総会・講演会

日時 / 4 月 27 日(日)

会場 / 実践桜会会館

記念講演会・短期大学部日本語コミュニケーション
高瀬真理子教授

『室生犀星の転換期—田端から馬込へ—』

■寄り道散歩

総会時の記念講演をうけて、「馬込文士村の犀星を訪ねて」

大田区馬込の室生犀星ゆかりの地と書道家熊谷恒子記念館(旧宅)までを「馬込文士村ガイドの会」の案内で散策。大森駅前の天祖神社から出発して、犀星旧宅跡付近、万福寺境内(犀星句碑)、晩年の旧居、萩原朔太郎、宇野千代、尾崎士郎旧居付近、熊谷恒子記念館、大田区郷土博物館までの約 3 時間のコース

■会報誌「りんどう」の発行 7 月 7 日

■能楽鑑賞会 9 月 13 日(土) 国立能楽堂

演目 狂言<文荷>茂山七五三

能 <阿漕>観世恭彦

*上記については終了しました

■学祖祭献香 10 月 8 日(水) 桜会会館内

■東京国立近代美術館工芸館見学

“タッチアンドトーク”に参加

日時未定(12 月~2 月の間)

■新年会 平成 27 年 1 月 25 日(日)

場所時間は未定

■講習会、絵手紙の会 実践桜会会館内

日時 / 第 3 水曜日 13 時~

●連絡先:045-543-3963 (わかまつ さちこ)

実践英文科会

科会長:山内典子

6 月 8 日(日)第 38 回総会が開催されました。今年度の事業計画などが承認され、新年度がスタート致しました。総会後の講演会は、英語コミュニケーション



ン学科主任教授、武内一良先生により『現代英語に隠された真実・社会言語学の論理思考』と題して行われました。映像を使った講演は大変興味深いもので、先生の講義を聴講したいという声が多く聞かれました。

年間行事

■会報誌:『英文科会だより 2014』9 月発行

■英文科創設 90 周年記念式典・祝賀会

日時 / 9 月 28 日(日)

会場 / 創立 120 周年記念館 9F カフェテリア



■新年会

日時 / 平成 27 年 1 月 25 日(日)

会場 / 未定

■常設勉強会

輪読会 A: 第 2・第 4 金曜日 10:30 ~ 12:30

輪読会 B: 第 1・第 3 金曜日 10:30 ~ 12:30

会場 / 実践桜会会館

★今年度は、英文科創設 90 周年の記念行事がある為、秋の見学会は中止に致しました。

●連絡先:TEL & FAX 045-862-3744

(やまうち のりこ)

実践キャリアネットからのお知らせ

実践キャリアネットは、今年で 11 周年を迎えました。これまで、「仕事」をキーワードとして、世代・学部を超えた実践ネットワークの充実をはかってまいりました。今後はさらに大学のキャリアセンターとの連携を強め、キャリアアップのための勉強会や、在学生の就職に向けての相談会を充実させてまいります。

皆様一度セミナー等に参加してみませんか。お待ちしております。

2014 年度の活動報告・予定

●総会・講演会

日時・会場 / 6 月 21 日(土)・実践桜会会館 1 階

講師:黒川祥子氏(ルポライター。2013 年開高健ノンフィクション賞受賞)

『母として、ルポライターとして“今”を探る』

*講演会終了後の懇談会では、講師の黒川祥子氏を交えて楽しいひとときを過ごしました。

●セミナー開催予定

(最新情報は HP をご覧ください。http://www.j-sakura.org)

・第 1 回

日時・会場 / 11 月 15 日(土)・実践桜会会館

第 1 部『働く女性のための、簡単きれいなメイク術』

第 2 部『働く女性たちのワークライフバランス』

・第 2 回 未定

日時 / 2 月 21 日(土)

会員外の方も大歓迎です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

●在学生向け就職相談会

『ようこそ先輩 ようこそ後輩“働く”を話そう!』

日時・会場 / 10 月 18 日(土)・日野大学

校舎内 雪香記念館 2F:11 月 15 日(土)・実践桜会会館

●卒業生のための就職相談会

日時・会場 / 毎月第 4 土曜日(8 月 10 月 12 月はお休みです)・実践桜会会館

*キャリアカウンセラーがご相談に応じます。お気軽に桜会事務局までご予約下さい。

【入会方法】

入会申込はいつでも受け付けております。

桜会事務局へ(月~土 9:30 ~ 17:00 日曜・祝日を除く)

TEL:03-3407-7459 FAX:03-3499-0835

* HP からも申込ができます。http://www.j-sakura.org

[年会費]2,000 円(入会金は不要)

[振込先]みずほ銀行 渋谷中央支店 普通 1748354



事業部

実践桜会 国際交流基金 奨学生

奨学生 4 名を決定

平成 26 年度選考委員会を 3 月に発足し、規定を基に奨学給付金と人数を決めました。1 名につき月額 4 万円、年額 48 万円を給付し、人数は 4 名としました。

理事会の承認を得て、ホームページで一般公募し、また昨年度応募者のあった大学にも募集しました。

今年度の応募者は 102 名(10 大学院、10 大学、10 カ国)でした。第一次選考委員会(書類選考)を 6 月 18 日(水)に第二次選考委員会(面接選考)を 6 月 29 日(日)に行い、4 名の奨学生を決定しました。

選考委員は各役員選出母体から推薦された 5 名と、理事長、常任理事 5 名、計 11 名で構成されております。

奨学生との交流会を 10 月 11 日(土)と平成 27 年 3 月 7 日(土)の 2 回開催いたします。

参加ご希望の方は実践桜会にお申し込みください。

インタビュー:山口みなみ



王 夢溪 オウ ムケイ

中華人民共和国
早稲田大学 修士 1 年
政治学研究科 ジャーナリズムコース

——現在の研究のテーマと、ジャーナリストになるための取り組みについて教えてください。

研究のテーマは「中国の映像における日本人の軍人像の変遷」というものです。中国では抗日ドラマを放送することで、愛国心を育む政策が現在も続いています。

私はこうした抗日ドラマは好きではありませんでした。なぜならあまりにステレオタイプで、同じことが繰り返し放送されているからです。そのような私でさえも、実際に日本文化に触れるまでは、日本に対して反感をもっていたことは事実です。今もおお多くの人が抗日ドラマを視聴しますが、それによって両国関係が悪化してしまうというのは、ジャーナリストを志す者にとって看過できない問題であると思っています。

在学中の早稲田大学で「リサーチデザイン」と



任 地仁 イム ジン

大韓民国
東京外国語大学大学院 修士 1 年
総合国際学研究所 言語文化専攻
文学・文化科学研究コース

——研究テーマと将来の夢について教えてください。

当初は芥川龍之介のアジア認識に興味があり、それを研究のテーマとしていました。なぜなら近代日本の小説家が、朝鮮や中国にたいしてどのような視点をもっていたかという研究は、日本ではまだ深められていないのが現状だからです。しかし研究の過程で、より枠組みを広げて捉えることの重要性に思い当り、現在では「芥川龍之介の他者認識」を研究のテーマとしています。

修了後は韓国に戻り、高校で日本語教師として働く予定です。日本語に興味をもってもらうには、日本文学に触れることが一番だと思います。とりわけ芥川の作品は、日本語学習の教材として受け入れられやすいと思うので、自分でも芥



劉 鴻云 リュウ コウウン

中華人民共和国
早稲田大学大学院 修士 1 年
経済学研究科

——研究テーマを教えてください。

「民間保険会社の参入が中国の新型農村合作医療を効率化させるか」というのが私の研究テーマです。農村合作医療は耳慣れない言葉だと思いますが、つまるところ医療保険のことです。そもそも従来型は保険料が高く、貧しい農民ではとても納めることが出来ませんでした。それに比べて新型の保険料は非常に安く済みます。

現在、中国政府は効率・サービス等の点で、民間保険会社の参入を歓迎していますが、農村部ではなかなか難しい現状があります。

——現行制度のどんなところに問題があるのでしょうか。

ご存じのように、中国は戸籍制度によって管理されており、戸籍上の約 70%が農民ですが、実際には農村部から都市部へ出稼ぎに行く人が多数



王 詩芬 オウ シフン

台湾
東京大学大学院 修士 3 年
総合文化研究科 超域文化科学専攻
比較文学比較文化コース

——研究対象とテーマを教えてください。

私は台湾の輔仁大学で日本文学を学びました。輔仁大学在学当時は、谷崎潤一郎の作品世界に夢中になり、谷崎文学における夫婦像に関して修士論文を執筆しました。あれほど面白く、巧みな文章が書ける小説家はアジアのどこにもいないと思っています。実際、『刺青』や『春琴抄』、『痴人の愛』などを読んでいたときは、眠る時間さえ惜しいと思ったほどでした。

現在は東京大学大学院に在籍しており、「植民地台湾の雑誌研究:『台湾婦人界』(1934 年～1939 年頃)——閉じられた言語空間での対話と交流の可能性——」というテーマで研究に邁進しています。谷崎から転換した理由としては、より包括的に文化・風俗を俯瞰すべきだと思い至ったためです。もちろん、文学研究において作品論的ア

いう授業を受講した際、中国人を対象にしたアンケートをSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）上で実施し、抗日ドラマが視聴者に与える影響を調査しました。日本にいながら調査を行うのは大変な労力を要しましたが、本国にいる友人・知人の助けを得、非常に有用なデータを抽出することが出来ました。それは、抗日ドラマの視聴本数と、日本への評価の高低には、極めて密接な関係があることを立体的に示すものでした。

このようにマスメディアが大眾に与える影響は頗る大きく、日中をはじめ、他国との関係に必要以上の緊張を生じさせてしまう恐れが常にあります。

今後この研究成果が日中関係を見直す一つの契機となることを願っています。

川の作品を用いた教材を作りたいと思っています。これは直近の目標の一つですが、私にはさらに日本文学の翻訳者になるという大きな夢があります。

——翻訳者を目指す最初のきっかけとは？

新羅大学では日本語教育学科に在籍していました。もちろん、日本文学を読むのも好きでしたが、どちらかというと日本語教育に興味がありました。

翻訳者を目指すきっかけと言えば、日本の小説を友人に紹介したときのことが思い出されます。「面白そう、早く韓国語で読んでみたい」と作品に興味をもってくれたことは、私にとっても嬉しく、胸躍るものでした。

自分が読んで面白いと思った作品、まだ訳されていない作品を紹介したいという夢は、就職後

を占めています。しかし農村戸籍の者には、都市の保険は適応されません。つまり出稼ぎ先で健康を害した場合、高額な医療費が足かせとなって治療を受けられないのです。これは戸籍制度そのものの問題でもあります。

また保険適用の農村で医療を受けたとしても、医療費の還付を受けるにはその都度書類を提出しなければならず、手間が非常にかかります。加えて満足に教育を受けていない農民は、その手続きすら困難なのです。

中国は国土が大きいので、医療保険等も地方政府がそれぞれ運営していますが、地域によってかなり格差があります。都市部は民間保険会社に委託できますが、農村部は税収も少ないため委託できません。

民間保険会社に委託することで、手続き等が効

率は占めています。しかし農村戸籍の者には、都市の保険は適応されません。つまり出稼ぎ先で健康を害した場合、高額な医療費が足かせとなって治療を受けられないのです。これは戸籍制度そのものの問題でもあります。

——『台湾婦人界』は非常に貴重な資料のようですが、どのような雑誌であるのか教えてください。

『台湾婦人界』はおよそ五十七号まで発行されましたが、現存するのはそのうち九号分で、いずれも台湾に残されています。単純に希少価値があるともいえますが、それよりも『台湾婦人界』が果たした文化的役割そのものに、意味や価値があると考えています。残念なことに、『台湾婦人界』はほとんど認知されておらず、その重要性に目を向けている研究者が少ないというのが現状です。「婦人」とはいえ中身は家庭向けの情報以外に、

——日本に触れたきっかけは？

大学2年生のときに縁あって日本語を勉強しはじめ、言語文化に触れるうちに日本に対する興味が湧いてきました。その後3年生の夏休みに交換留学で宮崎県を訪れたことが、私にとって一番大きな転機でした。あの美しい風土や人々の温かさは、東京にいる今も忘れることが出来ません。やはり実際に自分の目で見、体感したときの喜びは胸に刻まれています。

——今後の目標を教えてください。

私のように、実際に日本を訪れる人の多くはこうした思いを抱くはずで、訪れる機会のない人はメディアを通して触れるほかありません。周知のとおり、中国で報道される日本はマイナスな面が強調されています。一方日本で報道される中国もまた、同様にマイナス面をク

も募る一方でした。週末はソウルの日本文学翻訳アカデミーに通い、翻訳技術や韓国語の文法構造、および文書作成の特訓を受けました。これまで母語についてあまり意識したことはありませんでしたが、翻訳をする上で母語に関する基礎知識は欠かせません。さらに韓国人の作家がどのような作品を書いているのかを知ることも重要と気づき、韓国の小説も読むようになりました。

そんな中、「日本文学を翻訳するのであれば、日本で日本文学を学ぶべきだ」と恩師に言われ、2年間務めた会社を辞め、日本に留学しました。留学してからというもの、出版社のアルバイトで韓国語訳の校閲をしたり、有意義で刺激的な毎日を過ごしています。自分の夢を応援してくれる人たちに支えられ、今があると思っています。

率化されるか否かは、すぐには判断できない問題です。しかしこの研究が形になれば、効率化への端緒を開くことが可能だと考えます。

——留学を志すきっかけとなった具体的体験を教えてください。

医師であった父の元には、お金の代わりに作物を携えた農民が訪れていました。父はこうした農村の状況を変えるべく、農村医療を扱う公務員になりました。貧しい農民のために医療費を少しでも多く還元したいという父の姿は、私に大きな影響を与えたと思います。

就職してからというもの、私自身も中国社会的格差を実感していました。都市の中の農村部で一人暮らしを始めたのですが、そこで見た光景は忘れられません。2009年頃のことですが、宅地開発のために住民を追い出し、富裕層向けの住宅に

政治・経済・思想・文芸とバラエティに富んだ総合雑誌でした。現在の雑誌とは違って、ターゲットを絞り込むのではなく、あらゆる読者を想定していることが取られます。もちろん、読者層は台湾在住の日本人や、台湾の知識階級であることは紛れもない事実であるとは思いますが……。しかし創刊当時の『台湾婦人界』は、台湾と日本を平等にあつこう姿勢を取っていました。創刊者は柿沼文明という日本人ですが、彼の努力というのが、真剣な眼差しを垣間見ることが出来るのです。

1930年代の当時、日本と台湾が帝国と植民地という力関係であったことは言うまでもありません。そのような状況において、台湾の文化向上に尽力した日本人がいたということには驚きを禁じ得ません。また、日本人と行動を共にしてい

ろズアップしていると考えています。何かと言うと民主主義がないことに結びつける傾向があると思いますが、それはある一面にしか過ぎないのです。

私が来日して日本の素晴らしさを知ったように、来日・来中経験のない両国の人々にも、両国に多様な面があることを知ってもらいたいと考えています。そのためには、情報発信者が個人としての理性をもち、曇りのない目で物事を捉えることが大切になってくると思います。そしてそれをできるだけ正確に伝えて行くことが、国際ジャーナリストを目指す私の使命であると思っています。

——目標としている人は？

実は韓国での日本文学の受容はかなり進んでいて、その人気は韓国文学を凌ぐほどです。小説家の作風は言うまでもありませんが、やはり翻訳者自身の感性も大きく係っているのではないのでしょうか。

金蘭周(キム ナンジュ)さんという日本文学の翻訳者に憧れています。村上春樹、江國香織など人気作家の翻訳を手掛けています。それぞれの作品から滲む独特な雰囲気、微妙なニュアンスを、美しい韓国語で訳す力量は群を抜いています。私も研鑽を積み、いつか金さんのようになりたいと思っています。

作り変えていったのです。補助金が出るとはいえ、バブルで地価は上がるばかりです。追い出された人達は、新たに住む場所など確保出来ません。

なぜこんなにも格差があるのか。せめて医療保険は平等にあるべきではないのか。そんな現状に一石を投ずるべく、わずかな貯えを持って日本に留学したのです。

——帰国後の目標は？

私一人は微力ですが、同じように目標を持っている人達が結集すれば、必ず現状を変えられるはずで、皆保険は私の目標でもあり、中国国民の念願でもあります。

修了後は公務員か保険会社に就職を考えています。公務員の腐敗は厳然たる事実ですが、内側から変えられることを信じています。そして農村部の人のために力を尽くしたいと思っています。

ることで同胞から責められる可能性がありながらも、台湾の悪弊を暴こうとした台湾人投稿者達の存在も同様です。日本人と台湾人が同じ目標を持って道を進んでいったということに、心を揺さぶられるような思いがします。

——今後の展望を教えてください。

どうしても視野が狭くなりがちな作品論に対して、一冊の雑誌から文化・社会が見えてくるというのが雑誌研究の面白さであり醍醐味だと思います。ましてこのような背景を持っている雑誌であればなおさらです。『台湾婦人界』が果たした役割をさらに解きほぐして、日本と台湾の友好の一助になればと思います。

私自身の目標としては、研究をさらに発展させて博士号を取得し、台湾の大学で教職に就きたいと考えています。

ゆうざの器

実践女子大学文学部国文学科教授 影山 輝國
実践女子大学生涯学習センター長



「宥坐の器」を学生に説明する影山輝國先生

「宥坐の器」というものをご存知でしょうか。奇妙な性質をもった器で、中がカラのときは傾き、水を入れると真直ぐになり、水が一杯になるとひっくりかえります。中国の古典『荀子』という書物に、「虚なれば則ち欹き、中なれば則ち正しく、満つれば則ち覆える」（宥坐篇）と出てきます。ある日、孔子が魯の国の君主であった桓公の位牌を祭る廟を訪れたとき、この器が飾られていました。孔子が弟子に水を注がせると、あら不思議、傾いていた器が真直ぐになり、満ちるとひっくりかえったのです。

これは、ある戒めを込めた器です。何事でも無理に欲張ってはいけない、ほどほどがよろしいということで、これを「中庸」または「足るを知る」の教えと申します。「宥坐」の「宥」は「右」と同義で、「宥坐」は「座右」にほかなりません。身近に置いて戒めにする器のことなのです。

この器は中国でもめったに見られなくなってしまいましたが、これを日本で復元した方がいます。館林市在住の「現代の名工」、針生清司さんです。針生さんは13年もの間、試行錯誤を繰り返し、平成4年ついに製作に成功されました。その後、孔子の故郷である山東省曲阜市の孔子研究院をはじめ、湯島聖堂、足利学校、長崎孔子廟などに寄贈され、大好評を博しております。私が今年(平成26年)6月29日に、足利学校アカデミーにて、「論語の編者はだれか」と題して講演を行ったとき、針生さんご夫妻は最前列で聴講され、「今日の記念に」と贈って下さいました。

大学や生涯学習センターで披露したところ、みなさんとても興味を持って実演してくれました。研究室に置いてありますので、ご希望があればいつでもご覧に入れます。
(かげやま てるくに)

『行状図解 孔子御一代
実記 全』(針生氏蔵)



実際に体験する聴講者
(生涯学習センターにて)

「マス目のなかの物語」および 特別展「よみがえる身体性の記憶」 開催のご案内



実践女子大学文学部国文学科教授
実践女子大学文芸資料研究所長 栗原 敦

このたび渋谷キャンパスの開設を記念し、国文学科で所蔵する梶井基次郎の自筆原稿ほかを一般公開するとともに、国文学科企画による大学・短期大学部公開市民講座(いずれも無料)を開催いたします。

公開講座第一回は 10 月 11 日(土) 14 時～16 時、棚田輝嘉(本学教授)・河野龍也(本学准教授)を講師とする「幻の「檸檬」草稿(瀬山の話)」で、展示のギャラリー・トークを含みます。

第二回は、10 月 18 日(土) 14 時～16 時、直木賞作家＝出久根達郎さんをお迎えして、演題「作家の値段」でご講演いただきます。

出久根達郎さんは、皆さんよくご存じの小説家・エッセイスト。古書店勤務ののち独立、杉並区で古書店芳雅堂を営み、1993(平5)年「佃島ふたり書房」で直木賞受賞。書物・古書・作家、そして人生の機微に触れる、ディープで、面白く、目の覚めるような、心打つ沢山のエッセイがあります。ご期待ください。

特別展示は、長らく行方が知られずでしたが、縁あって 2011 年に国文学科にもたらされた、梶井基次郎の名作「檸檬」完成間近の下書き稿を含む自筆原稿「「檸檬」草稿(いわゆる「瀬山の話)」」を中心に、芥川龍之介自筆資料、谷崎潤一郎自装「老後の春」原稿帖を展示します。

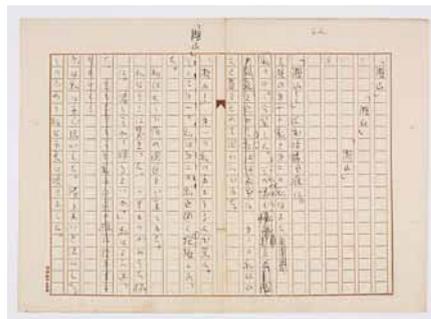
「「檸檬」草稿(いわゆる「瀬山の話)」」は、梶井の友人淀野隆三の手によって、梶井の没後に未完の中編小説として、仮題「瀬山の話」を付して発表されたものです。その後、何度かの全集編纂に際しても、習作の一つとして収録されてきましたが、原稿の実情は示されことなく、淀野の死後、原稿自体の行方も不明となりました。いま、幸いにしてその全貌を目にすることができる機会

を得て、これを目の当たりすると、表現者の作品表現に向かう、激しくも、粘り強い、もろもろの表現行為の全貌に立ち会うことができる思いです。

「「檸檬」を含む草稿群」の本文研究と翻刻は、近々、「檸檬」を巻頭に掲げた梶井生前唯一の短編集『檸檬』を刊行した由緒ある武蔵野書院より、棚田・河野の研究の成果に基づいて公刊される予定になっているのですが、実際「檸檬」は、本「「檸檬」を含む草稿群」の中核部分に＜原形＞があるわけです。いや、その言い方では十分でないかもしれません。別に残されている「密やかな楽しみ」なる詩作品草稿の存在なども視野に入れなければなりませんから、早い時期からあった「一顆の檸檬」に纏わる原イメージを小説的に熟成させつつ、「「檸檬」を含む草稿群」の全体として何段階かに涉って構築しようと試みながら、ついに果たし得ぬままに中断し、改めて、「檸檬」の＜原形＞的部分と見なされるようになるところから独立させ、それを短編作品として磨き上げた、とでもいうべきなのでしょう。

それゆえ、「「檸檬」を含む草稿群」には、様々な夾雑物が混在し、構造も未整理というほかに、従来の全集が「習作」と分類したことは頷けないわけではありません。けれども、ここには「檸檬」では切り離され、取り上げるわけにはいかなかった可能性が残されていると認めることができるのです。晩年にまで続く、昭和期の作家梶井基次郎の歩みの芽生えもまたこの中に潜められている、そういいたいと思います。

作品生成の秘密は、作家誕生の秘密でもあります。このような草稿・原稿はその現場に私たちを立たせてくれる、かけがえのない手がかりです。お誘いあわせて、お出かけ下さい。(くりはら あつし)



「檸檬」草稿(瀬山の話) : 実践女子大学蔵

学祖祭 10月8日(火)

＊護国寺墓参、香雪記念館祭壇参拝。

＊実践桜会会館に祭壇を設置し、実香会による献香の儀を挙行。

その後参拝をし、下田歌子先生の偉業に対し思いを新たにいたします。

総務部

●地区懇談会の報告

平成26年9月13日(土)

会場:ホテルメトロポリタン高崎

内容:1 文化講演会

講師・岡野弘彦(歌人・H25年度文化功労者顕彰)
演題・『折口信夫と源氏物語』

2 学園関係者、実践桜会及び群馬県支部会による懇談会

3 実践女子大学・短期大学部後援会、実践桜会との懇親会

文化部

●実践桜会バザー開催

日時:10月25日(土)・26日(日) 9:30～15:30

会場:中高体育館内ギャラリーアリーナ

全国各支部の特産品、雑貨、科会・会員の皆様の手作り品など沢山のご寄贈品が並びます。各種お弁当の販売もしております。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

☆ご寄贈品の提供のお願い

受付:10月20日(月)まで

・鮮度を要する食品は10月23日(木)

・未使用の在庫品や手作り品など1個からでも大歓迎です。

・記念品販売(オリジナルクリアファイル、お茶他)

●初春歌舞伎観劇会

日時:2015年1月11日(日)

場所:国立劇場

演目:通し狂言「南総里見八犬伝」五幕九場

出演:尾上菊五郎、松緑、菊之助、中村時蔵他

・チケット代1万円(含お弁当、解説イヤホン付)

お問い合わせ・お申し込みは、実践桜会文化部へ

TEL 03-3407-7459

FAX 03-3499-0835

ホームページに掲載する投稿記事や写真をお寄せ下さい。

広報部メールアドレス:jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

財務部

●会費納入のお願い

一般社団法人教育文化振興実践桜会の運営・活動は皆様の会費によって支えられています。会費未納のかたは、振込用紙にてゆうちょ銀行および実践桜会本部窓口でご納入願います。また、下記の銀行口座をつかい、銀行振り込みもご利用ください。

みずほ銀行 渋谷中央支店(162)

口座 番号 普通 1189795

一般社団法人教育文化振興実践桜会

なお、振込用紙がない場合は、実践桜会会館までご連絡ください。TEL:03-3407-7459 FAX:03-3499-0835

＊いずれの場合も会員番号のご記入をお願い致します。

実践桜会会館利用サークルのご案内

サークル名	活動曜日	主な内容
アトリエ染花	第1日曜日	工芸・飾り花
編み物の会	第3金曜日	工芸・編み物
実践桜会囲碁教室	第2・4月曜日	囲碁
英文科輪読会A	第2・4金曜日	英文学
英文科輪読会B	第1・3金曜日	英文学
実践絵手紙の会	第3日曜日	絵手紙
かえで(楓)会	第2火曜日	染色
桂泉会	月2回土曜日	華道古流
香友会	不定期	香道
古典を読む会	第2・4月曜日	日本文学
桜書道教室	第1・3土曜日	芸術・書道
“下田歌子先生の著作を読む会”	第4日曜日	“研究会:下田先生を広く知る”
山川園松箏曲教室	月2回土曜日	山田流箏曲
童の会	第1日曜日	文学・児童の研究と創作
十八の会	第4月曜日	懇親会
ハーダンガーの会	第2木曜日	工芸・ハーダンガー刺繍
ビーズの会	不定期	工芸・ビーズ
北欧刺繍に親しむ	不定期	北欧刺繍
マンドリンクラブOG会	不定期	音楽・マンドリン
実香会	第3土曜日	香道
萌黄会	第1月曜日・第4木曜日	日本刺繍
日本ギヤスケル協会	第1又は第3日曜日(不定期)	ギヤスケルの研究
日本バーナードショー協会	不定期	バーナード・ショーの研究
ばらの会	不定期	手作りの会
北欧クロスステッチ	不定期	北欧刺繍
JJF 総会	月1回	“実践女子学園に在籍中の子女を持つ父親の会”

2014.09 現在 / お問い合わせは会館事務局へ

平成26年度創立120周年記念1期整備計画完成記念 第16回「オール実践ホームカミングデー」開催について

平成26年度第16回目のホームカミングデーは、「創立120周年記念館」（渋谷キャンパス）に於いて、卒業生が一同に会する創立120周年記念1期整備計画完成記念『オール実践ホームカミングデー』（大学・短大・高校卒業生対象）として開催いたします。ぜひご参加ください。

開催日：平成26年10月26日（日）中高ときわ祭開催中
会場・時間：「創立120周年記念館」

〈第1部〉13:00-14:30 ホームカミングデー音楽祭：1Fアトリウム

企画構成：土手多喜子

出演者：クロイツァー涼子、谷口艶子、岡田佳子、福元美帆、三浦 香、武者弘子、樋口智美、小笠原裕子、古川三恵、後藤真理子

主な演奏曲目：『胡桃割り人形』より「花のワルツ」

オペラ『ファウスト』より「宝石の歌」

オペラ『ラクメ』より「花の二重唱」

オペラ『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」

「愛の挨拶」、ディズニーメロディー

※曲目は、変更することがございます。

〈第2部〉15:00-16:30 懇親会：9階カフェテリア

●お問い合わせ先：実践女子学園総合企画部 ホームカミングデー担当 TEL042-585-8804

※詳細は実践女子学園ホームページをご覧ください。

香雪記念資料館からのお知らせ

展覧会名：実践女子学園香雪記念資料館

渋谷キャンパス移転特別展

第14回 学祖・下田歌子展

下田歌子のあゆみと芸術へのまなざし

広重の風景

〈一部〉— 広重画に学ぶ —

〈二部〉— 望月義也コレクション

木曾街道六拾九次・名所江戸百景 —(仮)

会 期：一部 2014年10月6日（月）～10月26日（日）

二部 2014年11月3日（月）～12月19日（金）

休館日：土日祝および10/27（月）～11/2（日）（展示替えのため）ただし、10/11（土）・10/18（土）・10/19（日）・10/26（日）・11/3（月）・11/24（月）は開館

開館時間：11:00～17:00

会 場：実践女子学園香雪記念資料館 企画展示室

●文学部国文学科

特別展 よみがえる身体性の記憶

— 梶井基次郎「檸檬」草稿（瀬山の話）など —

会期：10月6日（月）～26日（日）（12月25日のみ休館）

会場：渋谷キャンパス1F 香雪記念資料館展示室1

開館時間：11:00～17:00

実践女子大学公開市民講座

〈渋谷キャンパス〉

●文学部国文学科

— マス目のなかの物語 — 会場：渋谷キャンパス

（第1回）『幻の「檸檬」草稿（瀬山の話）出現！』

日時：10月11日（土）14:00～16:30（13:30開場）

講師：棚田輝嘉教授、河野龍也准教授

（第2回）『直木賞作家・出久根達郎さん講演会「作家の値段」』

日時：10月18日（土）14:00～16:00（13:30開場）

講師：直木賞作家・出久根達郎氏、司会・進行 栗原 敦教授

※事前申込不要・入場無料

●文学部英文学科

— 女子教育の過去と未来をつなぐ —

会場：渋谷キャンパス

日時：10月24日（金）16:30～18:00（16:00受付開始）

講師：志渡岡 理恵准教授『大学はユートピア？— イギリスの女子大生小説から教育の可能性を探る』

講師：佐々木 真理准教授『教育への扉を開くために— アメリカにおける女子教育の理念と軌跡』

講師：村上 まどか教授『言語と女性— ことばを変えれば社会も変わる』※事前申込不要、入場無料

〈日野キャンパス〉

●生活科学部

— 現代の生活デザイン —

会場：日野キャンパス

（第2回）日時：10月25日（土）13:00～15:00

テーマ：もてなし料理と酒器のデザイン

講師：【食生活科学科】 秋田 修教授、大久保 洋子元教授

（第3回）日時：11月9日（日）13:00～15:00（11/8.9 学園祭開催期間）

テーマ：好みの多様性— 建築、ファッション

講師：【生活環境学科】 川上 梅教授、大川知子准教授、榎 究教授

（第4回）日時：12月13日（土）13:00～15:00

テーマ：暮らしをデザインする生活心理

講師：【生活文化学科】教員

※事前申込不要、入場無料

平成 25 年度事業報告

【総務部】

- 1) 5月19日定時総会、12月7日臨時総会、理事会14回、常任理事打合せ会10回 委員会(2回)
- 2) 9月7日 大学・短期大学後援会／実践桜会共催
公開市民講座、地区支部との懇談会開催 於:仙台
- 3) 10月8日 学祖祭:護国寺墓参及び中高校舎香雪記念館内祭壇参拝
実践桜会会館祭壇設置参拝、実香会による献香の儀を挙行
- 4) 入学、卒業祝記念品贈呈(大学院・大学・短大・高校・中学)
- 5) その他学園等の懇親行事に参加(祝・成人の会)
- 6) 11月9・10日 大学・短大「常磐祭」に参加
- 7) 支部・系列科会主催の講演会に参加
- 8) 支部・系列科会への助成事業
- 9) コンピューターによる会員名簿の管理
- 10) 事務局運営(事務員の人事及び管理)
- 11) 実践桜会会館・日野分室の点検、整備、営繕

【事業部】

- 1) 学園助成金贈呈(5月19日)
- 2) 実践桜会奨学基金:学園高校生1名に給付
- 3) 実践桜会国際交流基金:留学生4名に給付(奨学生交流会を10月と3月に実施)
- 4) 社会活動助成金支給:学園関係2団体、9支部、5科会
- 5) 大学・短大「常磐祭」へ桜会賞を贈呈
- 6) 結婚相談(第2、第4土曜日)
- 7) 法律相談(第2水曜日)
- 8) 生涯活動学習支援
- 9) 貸室業務
- 10) 実践桜会所蔵図書の貸出しと整備・購入

【文化部】

- 1) 親睦バスツアー(6月14日)
- 2) 実践桜会バザー開催 於:実践女子学園中高ときわ祭(10月26、27日)
- 3) 初春歌舞伎観劇会 於:国立劇場(平成26年1月12日)
- 4) 母校記念品販売取扱

【広報部】

- 1) 「那与竹」第76号発行(4月1日)
- 2) 「なよたけ情報版」N0.19発行(10月1日)
- 3) 実践桜会公式ホームページの管理・運営

【キャリアネット】

- 1) 運営委員会 毎月1回 開催
- 2) 総会と講演会(6月16日)「人生の宝石(ビジョン)を見つける～人生のあらゆる問題に毅然と立ち向かう自信とは～」
講師 山川和子氏 (株)モンテリビエ代表
- 3) セミナー開催
・11月16日(土)実践桜会会館 「仕事・子育て・・・両立がくれた感動」
講師:実践女子学園中学校高等学校校長 嶋野恵子氏
・2月15日(土)東京国立近代美術館工芸館「世界に誇る日本の伝統の美・技・心に学ぶ」
講師:東京国立近代美術館研究員 今井陽子氏
- 4) 在校生就職支援相談会開催(10月19日)「ようこそ先輩、ようこそ後輩 “働くを話そう!”」
- 5) 卒業生のための就職・転職相談会開催(毎月第4土曜日)

秋田先生 of 法律相談

桜会会員の皆さまを対象に、弁護士として豊富な経験と実績をもつ秋田瑞枝氏(同窓生)による法律相談です。毎月1回、実践桜会会館で行いますので、身の回りの諸事お困りごとをお気軽にご相談ください。秘密厳守をお約束します。

【相談室】

1. 月1回、第2水曜日11時～16時
2. 相談時間1回30分
3. 休室 祝日・8月

【会場】実践桜会会館(渋谷)

【申込方法】

1. 事前に電話で予約してください(先着順)
2. 関係資料などは相談時にご持参ください



プロフィール●昭和40年実践女子学園高等学校を卒業後、慶応義塾大学法学部法律学科に進学。在学中に司法試験第2次試験に合格、昭和54年港総合法律事務所(東京港区)開設、平成9年ひのき総合法律事務所開設

平成 25 年度会館利用状況

(平成26年3月31日現在)

月	件数	人数
4	29	345
5	27	300
6	36	378
7	25	198
8	13	104
9	32	307
10	30	237
11	34	340
12	16	130
1	22	168
2	24	167
3	35	327

合計 323件 3,001名

財務部報告

貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	281,082	496,411	△ 215,329
普通預金	14,987,084	17,649,995	△ 2,662,911
流動資産合計	15,268,166	18,146,406	△ 2,878,240
2 固定資産			
(1) 基本財産			
預金その他			
定期預金	27,966,601	27,966,601	0
基本財産合計	27,966,601	27,966,601	0
(2) 特定資産			
美術絵画等特定資産	11,950,000	12,250,000	△ 300,000
国際交流特定資産	56,280,000	58,200,000	△ 1,920,000
退職給付引当資産	904,568	904,568	0
特定資産合計	69,134,568	71,354,568	△ 2,220,000
(3) その他の固定資産			
定期預金等	53,180,000	52,480,000	700,000
減価償却資産			
建物	67,084,128	68,486,583	△ 1,402,455
建物附属設備	25,891,808	27,921,152	△ 2,029,344
什器備品等	1	1	0
その他固定資産合計	146,155,937	148,887,736	△ 2,731,799
固定資産合計	243,257,106	248,208,905	△ 4,951,799
資産合計	258,525,272	266,355,311	△ 7,830,039

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	0	2,111,893	△ 2,111,893
前受金	3,084,000	3,756,000	△ 672,000
預り金	37,385	21,659	15,726
流動負債合計	3,121,385	5,889,552	△ 2,768,167
2 固定負債			
入会金納金	53,180,000	52,480,000	700,000
退職給付引当金	904,568	904,568	0
固定負債合計	54,084,568	53,384,568	700,000
負債合計	57,205,953	59,274,120	△ 2,068,167
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	96,196,601	98,416,601	△ 2,220,000
指定正味財産合計	96,196,601	98,416,601	△ 2,220,000
(うち基本財産への充当額)	(27,966,601)	(27,966,601)	0
(うち特定資産への充当額)	(68,230,000)	(70,450,000)	△ 2,220,000
2 一般正味財産	105,122,718	108,664,590	△ 3,541,872
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	201,319,319	207,081,191	△ 5,761,872
負債及び正味財産合計	258,525,272	266,355,311	△ 7,830,039

正味財産増減計算書

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	12,789	18,585	△ 5,796
基本財産受取利息	12,789	18,585	△ 5,796
特定資産運用益	32,126	48,314	△ 16,188
特定資産受取利息	32,126	48,314	△ 16,188
受取入会金	13,210,000	12,990,000	220,000
受取入会金	13,210,000	12,990,000	220,000
受取会費	12,662,000	13,586,000	△ 924,000
年会費	12,486,000	13,394,000	△ 908,000
キャリアネット年会費	176,000	192,000	△ 16,000
事業収益	5,362,070	5,846,241	△ 484,171
生涯教育活動収益	164,500	156,850	7,650
貸室収入	1,211,340	1,222,125	△ 10,785
社会活動収益	869,000	1,014,100	△ 145,100
バザー収益	1,679,120	1,710,366	△ 31,246
母校記念品販売収益	48,110	133,800	△ 85,690
会合負担金収益	1,390,000	1,609,000	△ 219,000
受取寄付金	3,417,630	4,281,921	△ 864,291
受取寄付金	1,197,630	1,581,921	△ 384,291
受取寄付金振替額	2,220,000	2,700,000	△ 480,000
雑収益	621,595	763,446	△ 141,851
受取利息	31,295	46,848	△ 15,553
雑収益	590,300	716,598	△ 126,298
経常収益計	35,318,210	37,534,507	△ 2,216,297
(2) 経常費用			
事業費	27,195,193	33,471,714	△ 6,276,521
母校助成金	4,583,410	4,314,160	269,250
常務助成金	60,000	90,000	△ 30,000
奨学給付金	300,000	900,000	△ 600,000
国際交流給付金	1,920,000	1,800,000	120,000
国際交流事業雑費	23,638	12,072	11,566
図書費	96,540	97,668	△ 1,128
社会活動助成金	1,660,019	1,859,439	△ 199,420
バザー仕入	869,289	873,372	△ 4,083
母校記念品仕入	30,722	105,025	△ 74,303
広報費	4,727,393	8,609,361	△ 3,881,968
給料手当	3,051,173	3,296,886	△ 245,713
通勤費	379,455	351,736	27,719
旅費交通費	234,190	531,295	△ 297,105
福利厚生費	52,065	96,068	△ 44,003
報酬委託手数料	1,196,532	1,490,123	△ 293,591
事務用品費	98,510	370,818	△ 272,308
賃借料	939,865	755,664	184,201
通信費	222,112	313,318	△ 91,206
会館管理費	1,358,918	1,112,897	246,021
水道光熱費	1,361,963	1,168,690	193,273
租税公課	718,288	1,928,368	△ 1,210,080
減価償却費	3,002,824	3,048,351	△ 45,527
雑費	308,287	346,403	△ 38,116
管理費	11,664,889	10,717,694	947,195
給料手当	1,017,056	1,098,962	△ 81,906
通勤費	126,485	117,244	9,241
旅費交通費	2,485,140	2,464,170	20,970
福利厚生費	17,355	30,521	△ 13,166
報酬委託手数料	1,230,000	700,950	529,050
事務用品費	557,065	539,964	17,101
賃借料	939,862	755,657	184,205
通信費	585,332	453,242	132,090
会館管理費	239,794	200,156	39,638
水道光熱費	194,565	166,951	27,614
会館雑費	170,144	57,520	112,624
租税公課	172,612	360,436	△ 187,824
交際費	204,895	144,709	60,186
総会費	3,295,609	3,191,734	103,875
減価償却費	428,975	435,478	△ 6,503
経常費用計	38,860,082	44,189,408	△ 5,329,326
当期経常増減額	△ 3,541,872	△ 6,654,901	3,113,029
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	28,158	△ 28,158
経常外費用計	0	28,158	△ 28,158
当期経常外増減額	0	△ 28,158	28,158
前期一般正味財産増減額	△ 3,541,872	△ 6,683,059	3,141,187
前期一般正味財産期首残高	108,664,590	115,347,649	△ 6,683,059
前期一般正味財産期末残高	105,122,718	108,664,590	△ 3,541,872
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	12,789	18,585	△ 5,796
基本財産受取利息	12,789	18,585	△ 5,796
特定資産運用益	32,126	48,314	△ 16,188
特定資産受取利息	32,126	48,314	△ 16,188
一般正味財産への振替額	△ 2,264,915	△ 2,766,899	501,984
当期指定正味財産増減額	△ 2,220,000	△ 2,700,000	480,000
指定正味財産期首残高	98,416,601	101,116,601	△ 2,700,000
指定正味財産期末残高	96,196,601	98,416,601	△ 2,220,000
III 正味財産期末残高	201,319,319	207,081,191	△ 5,761,872

平成 26 年度予算書 (正味財産増減計算書)

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科目	予算額	前年度補正予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	28,000	28,000	0
基本財産受取利息収益	28,000	28,000	0
特定資産運用収益	72,000	72,000	0
特定資産受取利息収益	72,000	72,000	0
受取入会金	13,000,000	13,000,000	0
受取入会金	13,000,000	13,000,000	0
受取会費	12,650,000	12,650,000	0
年会費	12,500,000	12,500,000	0
キャリアネット年会費	150,000	150,000	0
事業収益	6,500,000	6,700,000	△ 200,000
生涯教育活動収益	100,000	100,000	0
貸室収益	1,200,000	1,200,000	0
社会活動収益	1,300,000	1,500,000	△ 200,000
バザー収益	2,000,000	2,000,000	0
母校記念品販売収益	200,000	200,000	0
会合負担金収益	1,700,000	1,700,000	0
受取寄付金	4,100,000	3,800,000	300,000
受取寄付金	1,500,000	1,500,000	0
受取寄付金振替額	2,600,000	2,300,000	300,000
雑収益	600,000	600,000	0
受取利息収益	150,000	150,000	0
雑収益	450,000	450,000	0
経常収益計	36,950,000	36,850,000	100,000
(2) 経常費用			
事業費	30,650,000	30,915,000	△ 265,000
母校助成金	4,200,000	4,700,000	△ 500,000
常務助成金	210,000	210,000	0
奨学給付金	600,000	300,000	300,000
国際交流給付金	1,920,000	1,920,000	0
国際交流事業雑費	50,000	50,000	0
図書費	100,000	100,000	0
社会活動助成金	2,400,000	2,490,000	△ 90,000
バザー仕入	1,000,000	1,000,000	0
母校記念品仕入	100,000	100,000	0
広報費	4,500,000	4,500,000	0
給料手当	4,000,000	4,000,000	0
通勤費	400,000	375,000	25,000
旅費交通費	650,000	650,000	0
福利厚生費	100,000	100,000	0
報酬委託手数料	1,100,000	1,100,000	0
事務用品費	250,000	250,000	0
賃借料	950,000	950,000	0
通信費	300,000	300,000	0
会館管理費	1,100,000	1,100,000	0
水道光熱費	1,200,000	1,200,000	0
会館管理費	350,000	350,000	0
租税公課	1,700,000	1,700,000	0
減価償却費	3,070,000	3,070,000	0
雑費	400,000	400,000	0
管理費	12,655,000	13,055,000	△ 400,000
給料手当	1,450,000	1,450,000	0
通勤費	125,000	125,000	0
旅費交通費	2,700,000	2,600,000	100,000
福利厚生費	50,000	50,000	0
報酬委託手数料	1,050,000	1,250,000	△ 200,000
事務用品費	500,000	500,000	0
賃借料	950,000	950,000	0
通信費	550,000	550,000	0
会館管理費	200,000	200,000	0
水道光熱費	150,000	150,000	0
会館管理費	50,000	50,000	0
会館雑費	90,000	90,000	0
租税公課	250,000	250,000	0
雑費	100,000	100,000	0
交際費	300,000	300,000	0
減価償却費	440,000	440,000	0
総会費	3,700,000	4,000,000	△ 300,000
経常費用計	43,305,000	43,970,000	△ 665,000
当期経常増減額	△ 6,355,000	△ 7,120,000	765,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0

告 知 板

♥結婚相談室♥

相談日：原則として毎月第2、第4土曜日

10:30～16:00

(10月第4土曜日は相談日が変更になる場合があります。)

休室：8月第2土曜日、12月第4土曜日

会場：実践桜会会館

入会資格：本校卒業生及び卒業生のご紹介の心身共に健康な男女

入会金：2万円、書類代1千円

入会時に持参するもの：入会ご希望の本人自筆の履歴書
写真5枚(本人のみ、スナップ可)

☆秘密厳守で評判の良い相談室です。

☆詳細は相談日にお問い合わせください。

連絡先：TEL 03-3407-7459 (実践桜会会館)

ハーダンガー刺繍教室

ハーダンガー刺繍は布目を対象として糸を渡す、また抜いてカットが基本となりますので、糊気のない平織の布を使用します。布の種類は色々ありますが、なかでもコーク、コンダレス、リネン等がよく使われているようです。

初めての人は基礎的な小物から始めますが、次回からは新しいステッチを入れた作品ができております。それぞれがマイペースでやっていますが、お互いの作品を見せ合うなどとても和やかな雰囲気に包まれています。



講習日：毎月第2木曜日 11時～15時

会費：1回 1,500円

材 料：針、糸その他材料は教室で準備します。

連絡先：TEL 3307-6472 中岡久恵

実践桜会囲碁教室

渋谷の教室を離れ、4月に湯河原、8月に実践女子学園仙石原実習所に合宿し、対局しました。いつもより多く打てるので一泊二日の合宿でも大きな収穫があります。



「実践女子大学囲碁愛好会」との交流会(8/25) 教室風景

勝っても、負けても同窓生同士なので笑いの絶えない仲間です。

また、今回はじめて「実践女子大学囲碁愛好会」のメンバーとの交流会を持ちました。卒業生の皆様、このような楽しい囲碁教室に参加してみませんか。アマ6段の柳川先生が、親切に指導してまいります。(S.M)

教室開催予定日

10/6, 10/20, 11/10, 11/17, 12/8, 12/22

2015年 1/19, 1/26, 2/9, 2/23, 3/9, 3/23 13:00-16:00

会 費：一回 1,000円

教 室：実践桜会会館

講 師：柳川正興(アマ6段)

連絡先：TEL03-3407-7459 (実践桜会会館)

実践桜会会館・貸室のご案内

明るい新会館をクラス会、サークル活動、各種打ち合わせ等にお気軽にご利用ください。詳細は実践桜会事務局(TEL03-3407-7459)へお問い合わせください。



一般社団法人日本オオカミ協会



アトリエ染花

【編集後記】

●地域交流の時代といわれて久しい。全国に根を張る下田精神は120年の重さの中で、つねにカタチを変えて、新しいものを生み出す原動力になってきました。同窓の皆様が実践の誇りです。下田先生をキーワードに地域交流を推進していきます。ご期待ください。(ST)

●第二次安倍改造内閣で5人の女性閣僚が誕生。日本の社会・経済における女性の活躍に期待!! 40数年も家庭生活にどっぷり浸かっていた私も啓蒙(?)のごとく、5月より実践桜会の活動に参加。社会の風に当たり刺激を受けて居ります。(CM)

●「輝く人」の編集を通して、年齢や職業は異なるものの、皆さん無駄なものをそぎ落とした生き方をなさっていることを知りました。「自分にとって大切ものは何か」を考え、必要なものを切り捨てて「潔く」生きていきたいと痛感しています。(MA)

●広報部に配属されて以来、毎日が物凄い早さで過ぎて行きます。呑気な私も、三倍速にならざるを得ません。慣れないことばかりで不安でしたが、皆様のお蔭でなんとか発行にこぎ着けました。これからも宜しくお付き合いください。(MY)

【寄附者ご芳名】(敬称略)

S32年卒短大生活科Cクラス一同、相馬房子、浅川祥子、山口光子、岡村和江、中岡久恵、佐野滋、松島京子、佐藤くみ、浦上淳子、福村和子、石渡澄子、増田陽和子、羽山治、伊藤真理子、羽山尚、羽山明、西向みち子、鍛島康子

*ご寄付は随時、受け付けております。

編集・発行：一般社団法人教育文化振興 実践桜会

編集・発行人：浦上淳子

〒150-0011 東京都渋谷区東 1-1-40

TEL:03-3407-7459 FAX:03-3499-0835

HP: <http://www.j-sakura.org>

広報部メールアドレス: jjissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

振込口座：東京 00190-0-23848 転居された場合はご連絡ください。

印刷：凸版印刷

会費納入のお願い

実践桜会は皆さまの会費で運営されています。年会費2,000円の納入をよろしくお願ひします。

転居・改姓等をされた方及び会費のコンビニ入金をされる方で住所変更もある場合は、会員番号をご確認の上、実践桜会事務局(TEL:03-3407-7459、FAX:03-3499-0835)までご連絡ください。